

日医総研ワーキングペーパー

診療所医師の診療時間および診療時間外活動に
関する調査結果（2007 年 7 月実施）

No. 151

2007 年 10 月 29 日

日本医師会総合政策研究機構
前田由美子・福田 峰

診療所医師の診療時間および診療時間外活動に関する調査結果（2007 年 7 月実施）

日本医師会総合政策研究機構 前田由美子・福田 峰

キーワード

- ◆ 診療所医師（管理者） ◆ 就業時間 ◆ 事務作業
- ◆ 診療時間 ◆ 地域医療活動 ◆ インフォームド・コンセント
- ◆ 診療時間外 ◆ 救急対応

ポイント

- ◆ 診療所医師（管理者）の 1 週間の就業時間は 40 歳代男性で 55.5 時間と最も長かったほか、おおむね週 50 時間を超えていた。
- ◆ 日曜日の午後は 4～7%、日曜日夜間も 3%前後が診療（救急対応を含む）を行っていた。
- ◆ 診療所医師（管理者）の 40 歳代は、診療時間外に地域医療活動（学校医・産業医等、救急対応、介護保険関係、行政・医師会等、地域行事）に 3.9 時間、50 歳代、60 歳代は 4.3 時間携わっていた。特に救急対応は、30～50 歳代で週に 2 時間を超えていた。
- ◆ 調査期間内の 1 週間に、一度以上の救急対応を行った診療所医師（管理者）は、30 歳代で 43.8%、40 歳代では 30.5%、50 歳代では 30.6%であった。
- ◆ 厚生労働省は、診療所医師に対して、休日・夜間の救急センターに交代出務すること、時間外でも携帯電話で連絡をとれることなどを求めているが、診療所医師（管理者）はすでにそうした活動に従事しており、その他にもさまざまな地域医療活動に取り組んでいる。
- ◆ 業務の負担が増えたと考える診療所医師（管理者）が、40 歳代で 71.6%、50 歳代で 59.6%と多く、その理由は「医療機関内の診療外業務（事務作業など）が増えた」が 73.0%、「インフォームド・コンセントに費やす時間が増えた」が 51.6%であった。
- ◆ 近年比重が高まってきた診療外業務（事務作業など）やインフォームド・コンセントへの対応などについて、適正な評価が必要である。

目 次

1. 調査の目的と方法

(1) 背景と目的	3
(2) 方法	4
(3) 用語の定義	5

2. 調査結果

(1) 回答医療機関のプロフィール	
1) 有床・無床別構成比	6
2) 性別・年齢別構成比	7
3) 診療科別構成比	7
(2) 勤務の負担	
1) 勤務の負担の増減	8
2) 5年前と比較して勤務の負担が増えた理由	10
(3) 1週間の労働時間	
1) 診療時間（診療業務の時間）	13
2) 就業時間（診療時間＋診療時間外－自己研修）	16
(4) 診療時間外活動の状況	
1) 1週間の活動時間	19
2) 診療時間外活動への取り組み状況	24
(5) 夜間および休日の診療業務（救急対応を含む）	28

3. 考察

集計表	集計表 1～20
調査票	調査票 1～2

1. 調査の目的と方法

(1) 背景と目的

厚生労働省はこれまで、医師は偏在しているだけであって、不足しているわけではないという見解を示してきた。1997年6月には医師数を抑制する旨の閣議決定もなされた¹⁾。

しかし、2003年に導入された新医師臨床研修制度におけるマッチングシステムの導入や、産科をはじめとする医療訴訟の増加を直接的要因として、近年、医師の不足が顕在化した。

これを受けて、国の2008年度予算では、緊急医師確保対策として42,962百万円（厚生労働省16,034百万円、文部科学省26,928百万円）が要求された（2007年8月末時点）。ただしこの予算は、主として病院勤務医師の過重労働を解消する目的で計上されたものであり、診療所医師については、さらに負担を強いる方向にある。

たとえば、厚生労働省が2007年4月にまとめた「医療政策の経緯、現状及び今後の課題について」では、「時間外や夜間・休日の診療を行っている診療所数（中略）は、減少傾向にある」と認識され、開業医に期待される役割として、在宅当番医制ネットワークを構築し、休日・夜間の救急センターに交代出務すること、時間外でも携帯電話で連絡をとれること、在宅療養支援診療所として24時間体制で対応することなどが挙げられた。

さらに、診療所医師の本来の診療の収益源を減じようとする動きも報道された²⁾。

このような中、診療所医師（管理者）の勤務負担の実態と地域の中で担っているさまざまな活動を把握するため、診療所医師（管理者）の診療時間および診療時間外の活動について、調査を行った。

¹⁾ 「医療提供体制について、（中略）医師国家試験の合格者数を抑制する等の措置により医療提供体制の合理化を図る。」1997年6月「財政構造改革の推進について」より。

²⁾ 「厚生労働省は、病院の勤務医に比べて高く設定されている開業医の初診・再診料などを2008年度から引き下げる方針を固めた」日本経済新聞2007年5月18日付朝刊より。（ただし、厚生労働省は即日報道が事実無根であると否定した。）

(2) 方法

調査対象は、北海道札幌市、東京都板橋区、山口県、鹿児島県の一人医師医療法人立および個人立診療所³⁾の日本医師会 A 1 会員(開設者、管理者およびそれに準ずる会員) 3,201 人とし、2007 年 7 月 25 日(水)から 31 日(火)までの 1 週間の診療時間および診療時間外の活動内容と時間数等を質問した。

2007 年 7 月 19 日に調査票を発送し、2007 年 8 月 3 日に回答を締め切った。

配布数 3,201 に対して、回答数 1,550、回答率 48.4%であった。ここから診療時間または診療時間外活動の時間数の回答がなかったもの、回答の読み取れなかったものを除いた有効回答数は 1,461、有効回答率は 45.6%であった(表 1)。

表1 回答数、回答率

	配布数	回答数	回答率	有効回答数	
				有効回答率	
北海道札幌市	826	392	47.5%	364	44.1%
東京都板橋区	300	143	47.7%	129	43.0%
山口県	1,051	562	53.5%	536	51.0%
鹿児島県	1,024	453	44.2%	432	42.2%
計	3,201	1,550	48.4%	1,461	45.6%

以下、調査客体を「診療所医師(管理者)」と呼ぶ。

³⁾ 一人医師医療法人立診療所：法人が開設する診療所のうち、医師が常時 1 人または 2 人勤務する診療所。個人立診療所：個人が開設する診療所。

(3) 用語の定義

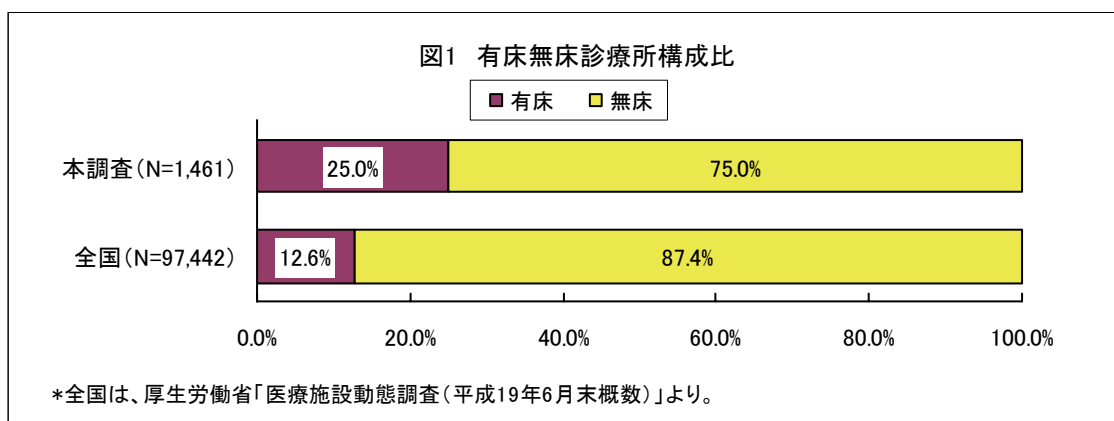
用語		主な活動内容ほか
診療時間	診療業務	外来・入院診療業務（診療前準備、後片付けも含む）、往診、訪問診療、他施設での診療業務（夜間・休日診療を除く）
診療時間外	地域医療活動	学校医・産業医等 児童生徒の定期健診、職場健診・健康相談、乳幼児健診、予防接種、がん・成人病検診、死体検案 など
		救急対応 休日診療業務、平日夜間診療業務、小児初期救急平日夜間診療業務、電話相談業務 など
		介護保険関係 介護保険認定審査会、ケアカンファレンス、主治医意見書の作成 など
		行政・医師会等 防災会議、地域医療計画会議、障害者認定審査会など医師会での各種会議・業務 など
		地域行事 地域行事（マラソン大会など）救護班として出務、地域行事（市民公開講座）の講師 など
	診療所管理業務	診療所の経理、職員・看護師等への教育・指導、レセプト・カルテの作成、書類等の作成 など
就業時間		自己研修 医学雑誌、医学専門書に目をとおす、医学文献の検索、医師会・学会・研究会の講演会 など
就業時間		診療時間＋診療時間外－自己研修

2. 調査結果

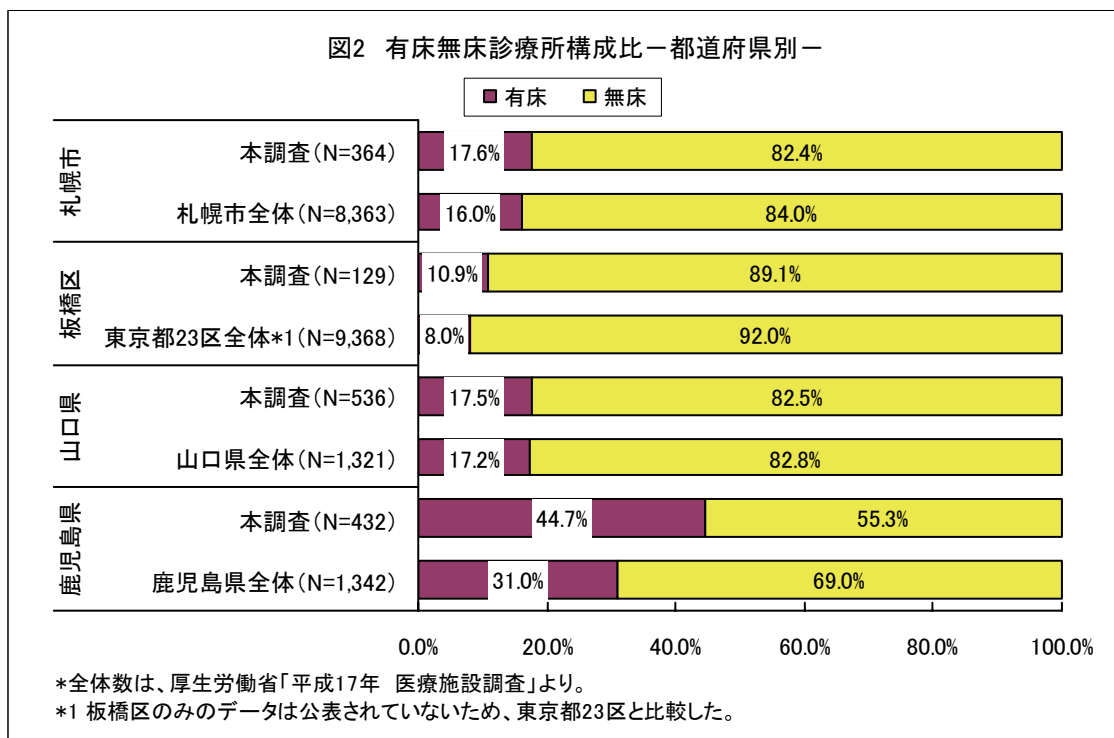
(1) 回答医療機関のプロフィール

1) 有床・無床別構成比

本調査の有床・無床別構成比は、有床診療所 25.0%、無床診療所 75.0%であった。全国に比べて、本調査では、有床診療所の割合が 12.4 ポイント高かった (図 1)。

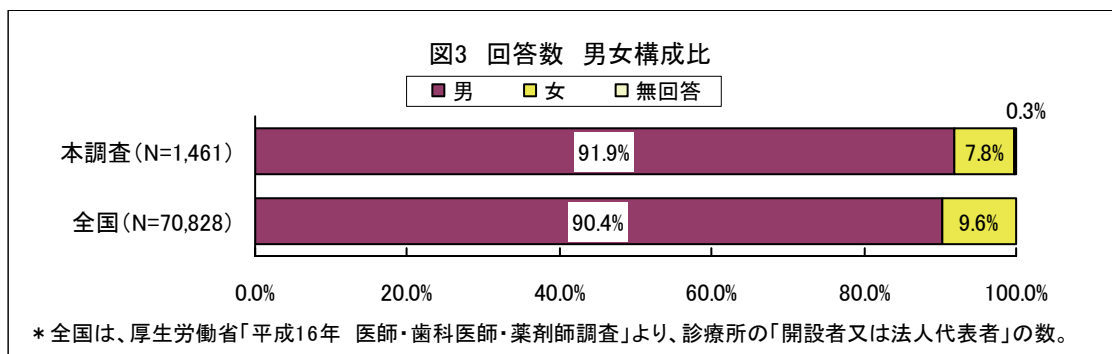


地域別では、特に鹿児島県で、本調査のほうが医療施設調査(全体数)に比べて、有床診療所の割合が高かった(図2)。

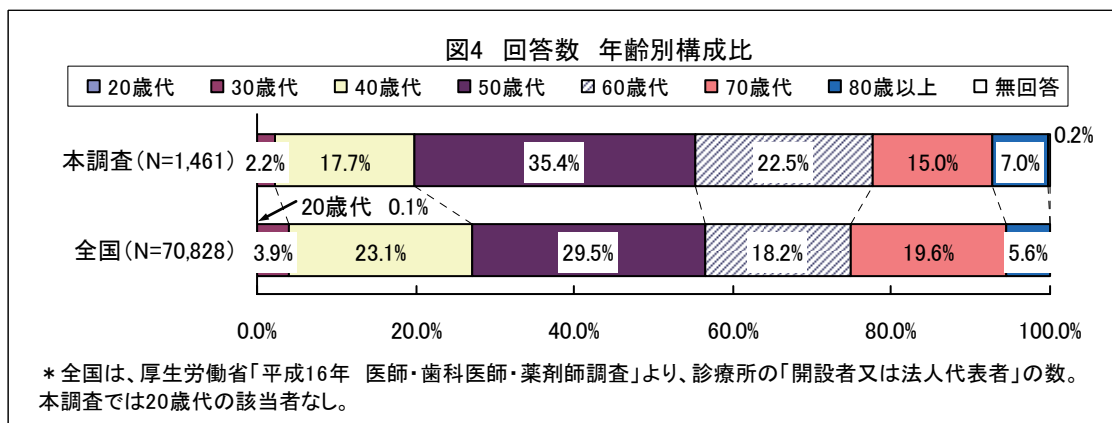


2) 性別・年齢別構成比

本調査では、男性 91.9%、女性 7.8%であり、全国と比べて男性の比率がやや高かった（図 3）。

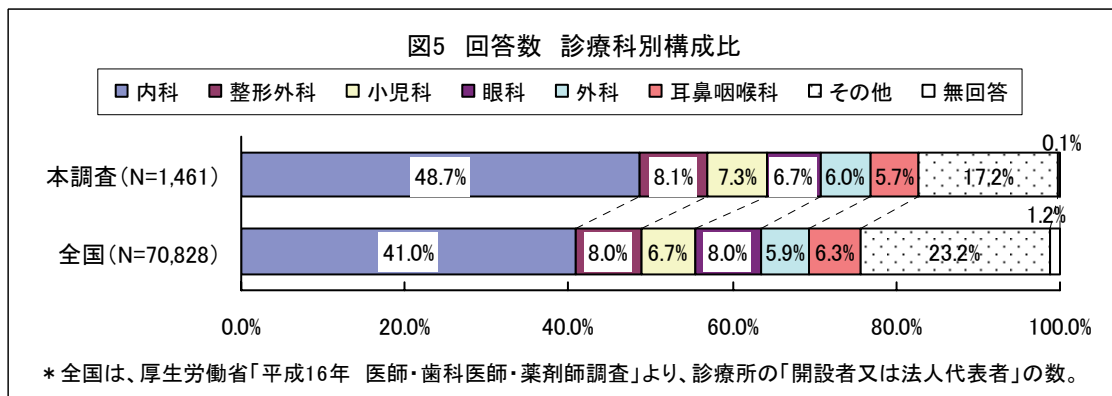


年齢別では、本調査は、全国に比べて 50 歳代、60 歳代の構成比がやや高かった。逆に 40 歳代と 70 歳代の構成比がやや低かった（図 4）。



3) 診療科別構成比

本調査では、全国に比べて、内科の構成比が高かった（図 5）。

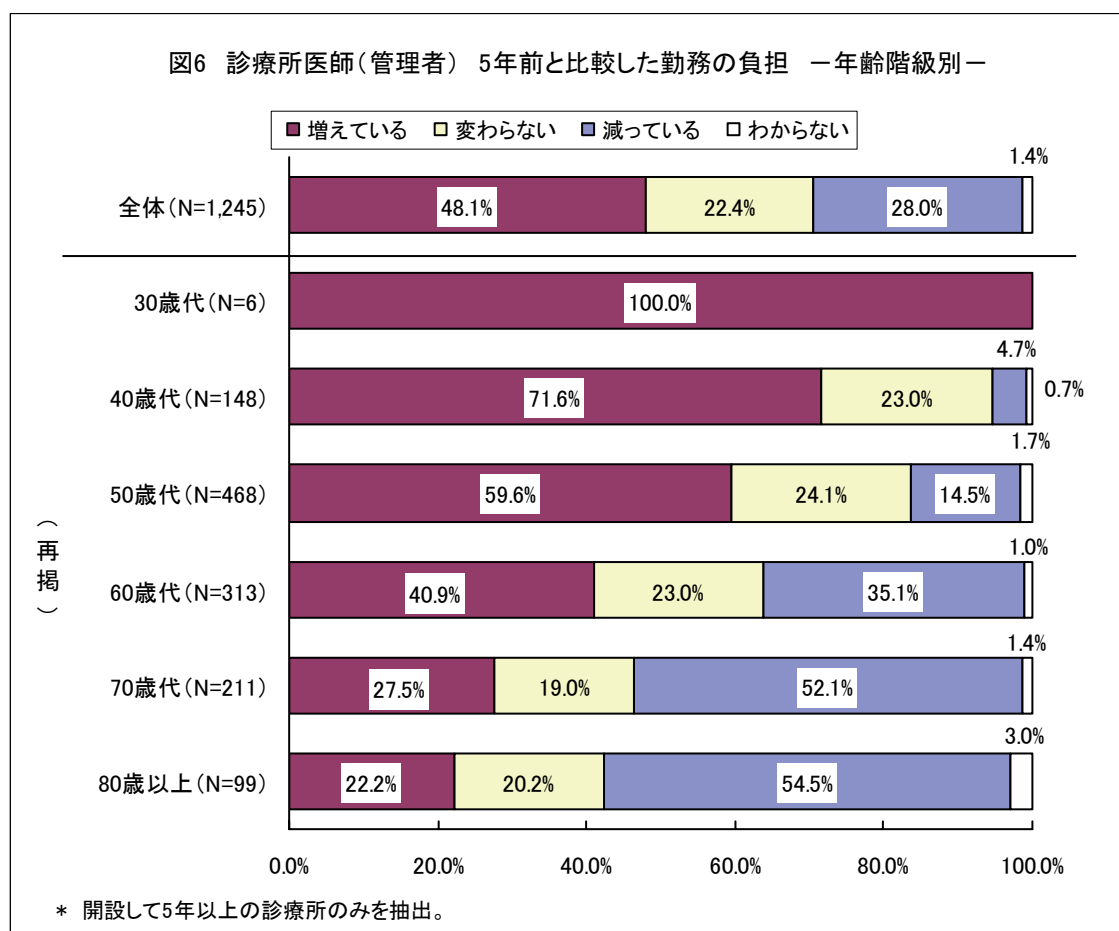


(2) 勤務の負担

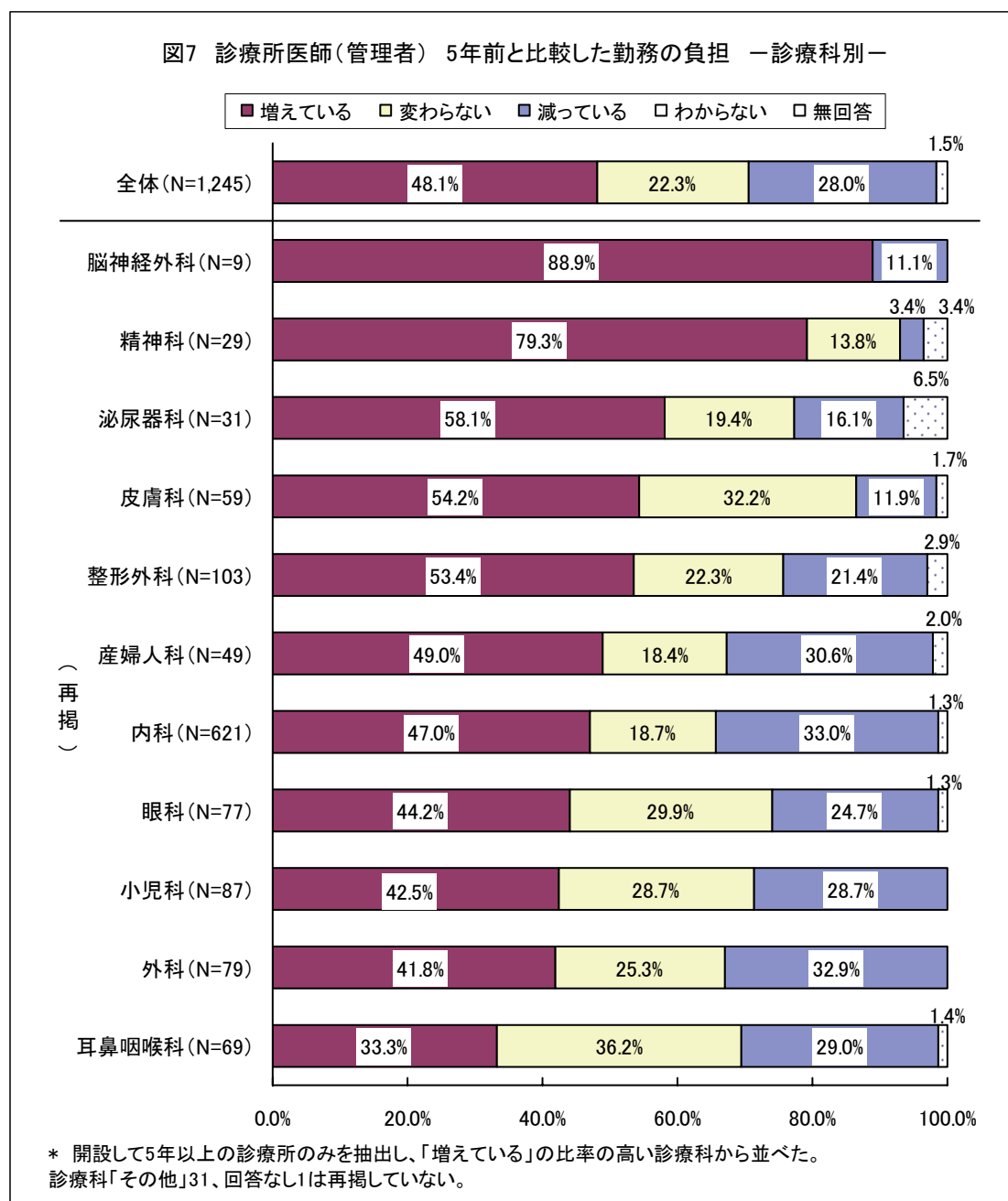
1) 勤務の負担の増減

診療所を開設して5年以上の医師のうち、5年前と比較した勤務の負担が「増えている」と回答した医師は全体で48.1%、「変わらない」は22.4%、「減っている」は28.0%であった(図6)。

年齢階級別に見ると、30歳代で勤務の負担が「増えている」が100.0%、40歳代で71.6%であった。

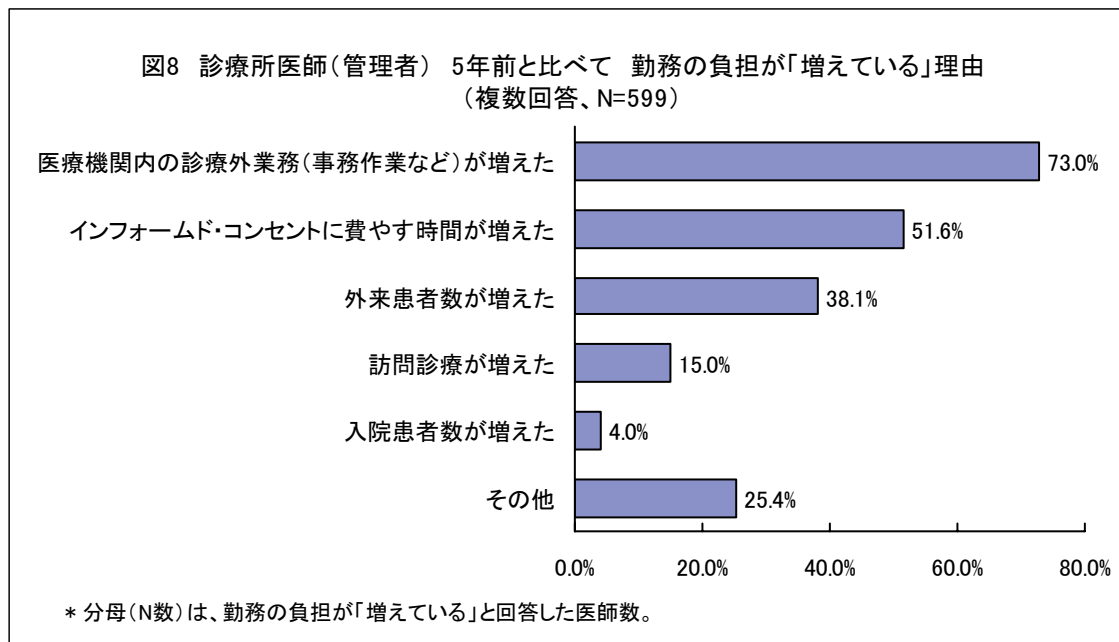


診療科別で、勤務の負担が「増えている」という回答の比率が高かったのは、脳神経外科 88.9%、精神科 79.3%、泌尿器科 58.1%の順であった（図 7）。



2) 5年前と比較して勤務の負担が増えた理由

勤務の負担が「増えている」という回答のうち、負担が増えた理由として多かったものは、「医療機関内の診療外業務（事務作業など）が増えた」で 73.0%、次いで「インフォームド・コンセントに費やす時間が増えた」で 51.6%であった（図 8）。



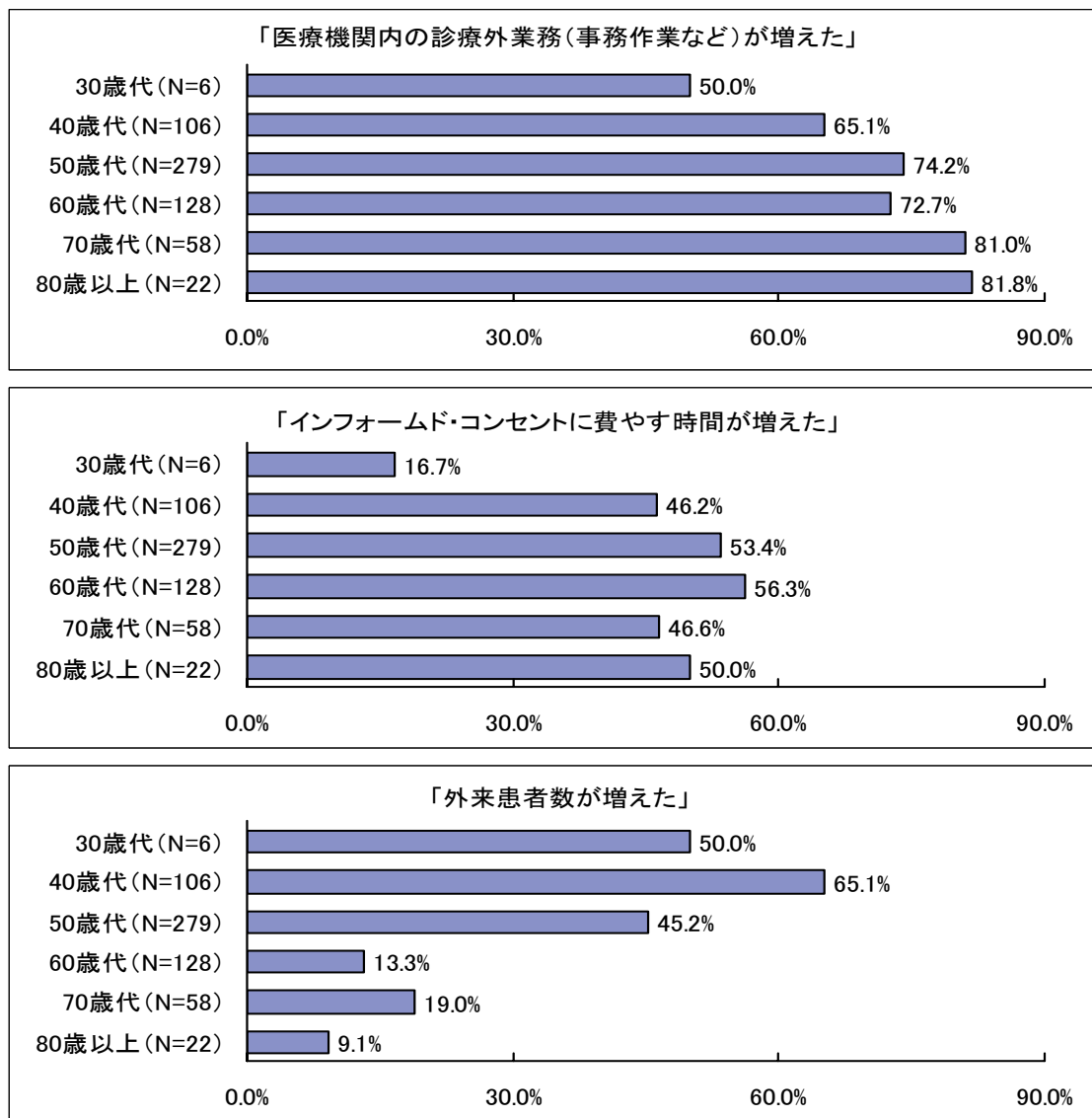
年齢階級別

勤務の負担が増えている理由として、「医療機関内の診療外業務（事務作業など）が増えた」を挙げた診療所医師（管理者）の比率は、ほぼ年齢とともに高くなっていた（図9）。

「インフォームド・コンセントに費やす時間が増えた」は、30歳代を除いて、40～50歳代であった。

「外来患者数が増えた」は、30歳代で50.0%、40歳代で65.1%、50歳代で45.2%であった。

図9 勤務の負担が増えている理由の回答比率（複数回答、N=599）－年齢階級別－



* 分母(N数)は、勤務の負担が「増えている」と回答した医師数。

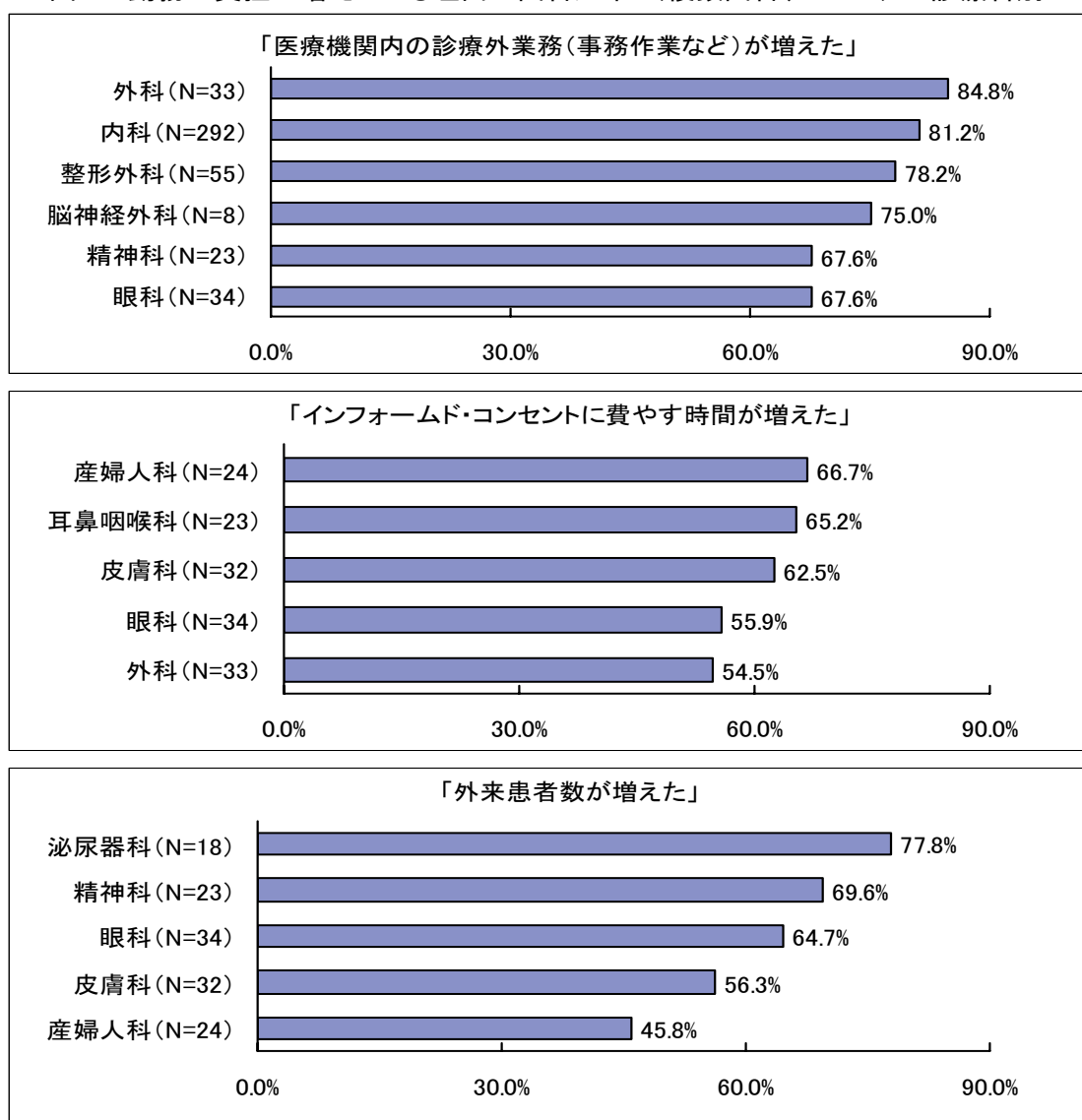
診療科別

勤務の負担が増えている理由として、「医療機関内の診療外業務（事務作業など）が増えた」を挙げた診療科は、外科、内科、整形外科、脳神経外科の順に多かった（図10）。

「インフォームド・コンセントに費やす時間が増えた」は、産婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科で6割を超えており、眼科以下とはやや差があった。

「外来患者数が増えた」という回答が多かったのは、泌尿器科、精神科、眼科であった。

図10 勤務の負担が増えている理由の回答比率（複数回答、N=599）－診療科別－



* 比率の高い上位5診療科を示す。分母(N数)は、勤務の負担が「増えている」と回答した医師数。

(3) 1週間の労働時間

1) 診療時間（診療業務の時間）

1週間の診療時間は、全体で42.6時間であった。もっとも長いのは、40歳代で45.8時間であった（図11）。

男性では40歳代がもっとも長く46.2時間であった。このほか30歳代、50歳代、60歳代で週40時間を超えていた。

女性でも、40歳代がもっとも長く42.7時間であったほか、30歳代、50歳代で週40時間を超えていた（図12）。

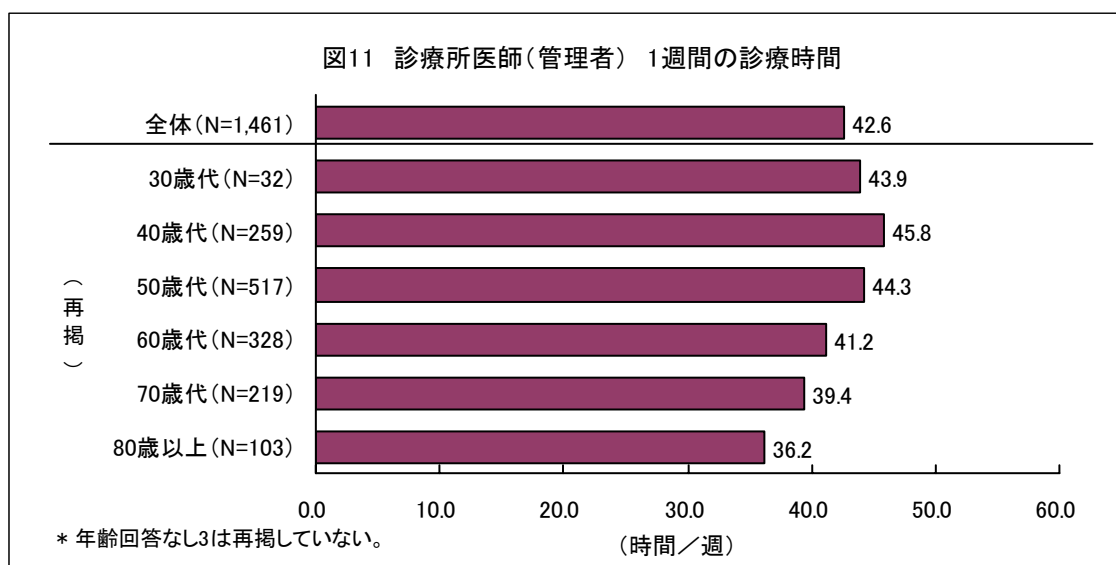
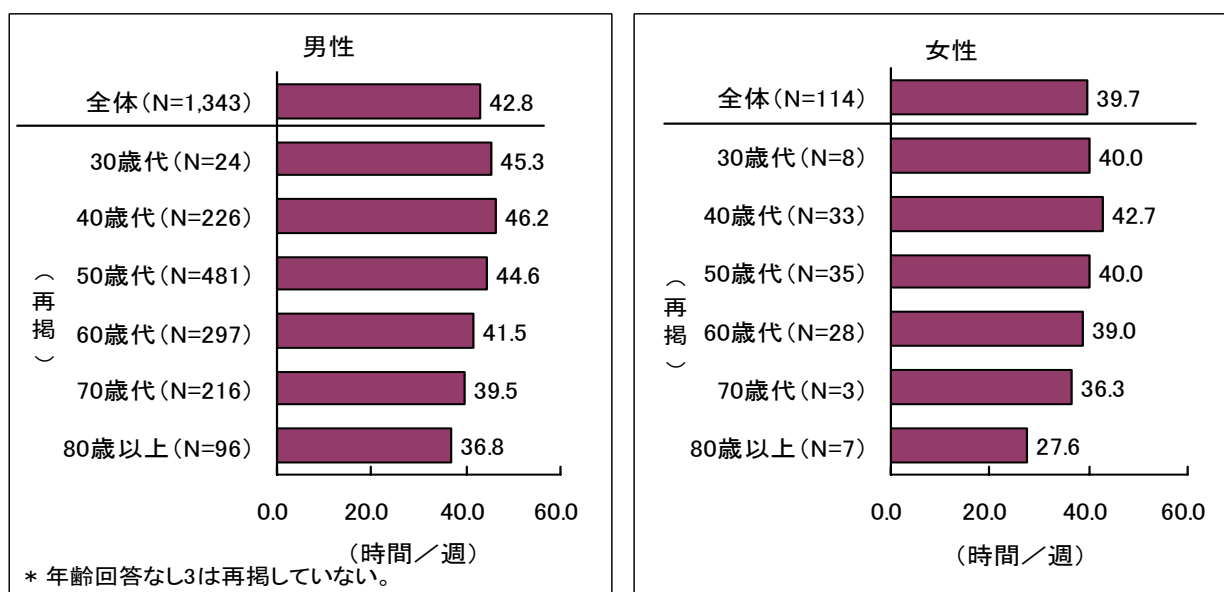


図12 診療所医師（管理者）1週間の診療時間－性別－



*男性女性とも、20歳代は該当なし。診療時間には、平日夜間・休日診療時間を含まない。

図13 診療所医師(管理者) 1週間の診療時間のばらつき -男性- (N=1,343)

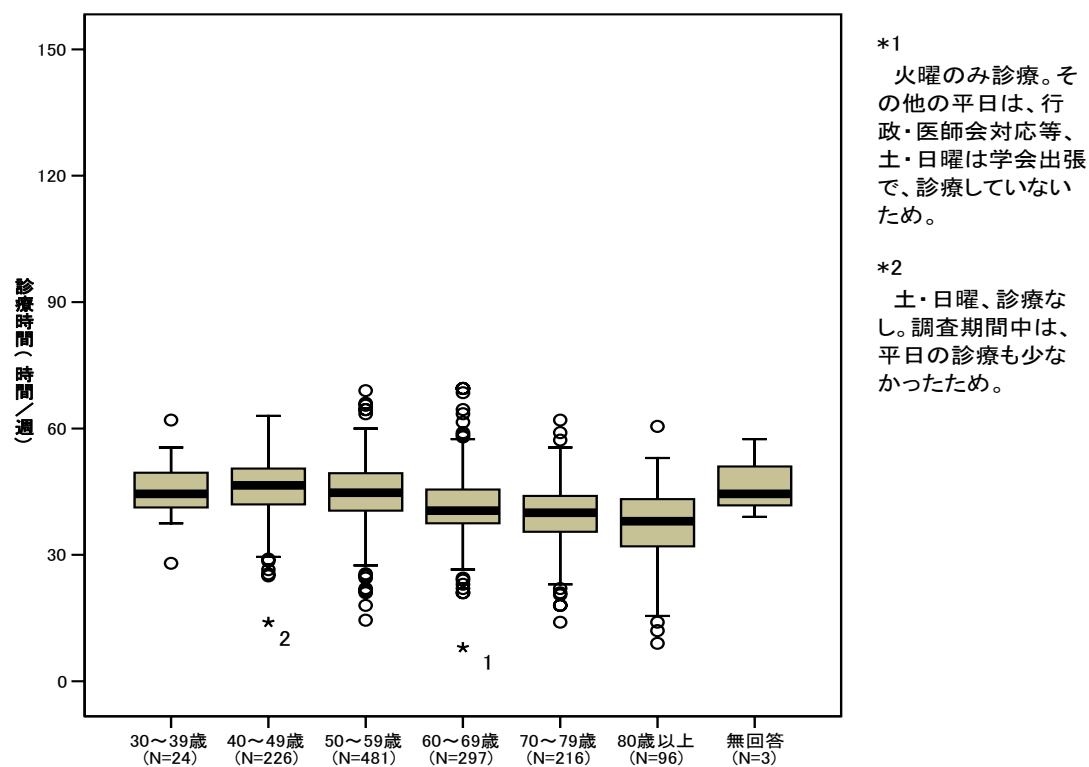


図14 診療所医師(管理者) 1週間の診療時間のばらつき -女性- (N=114)

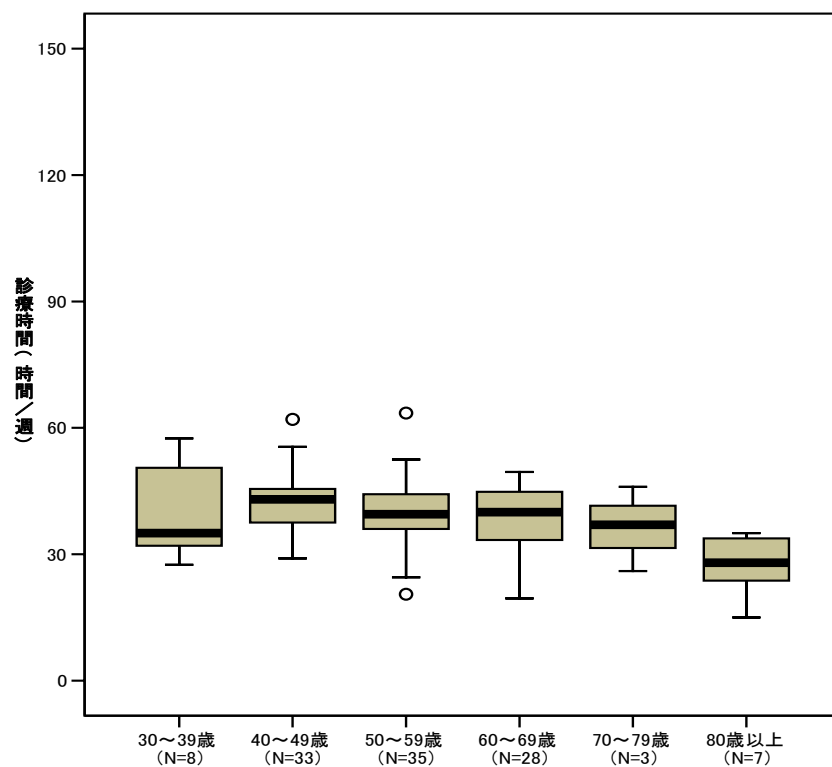


図15 診療所医師(管理者) 1週間の診療時間の分布 -男性- (N=1,343)

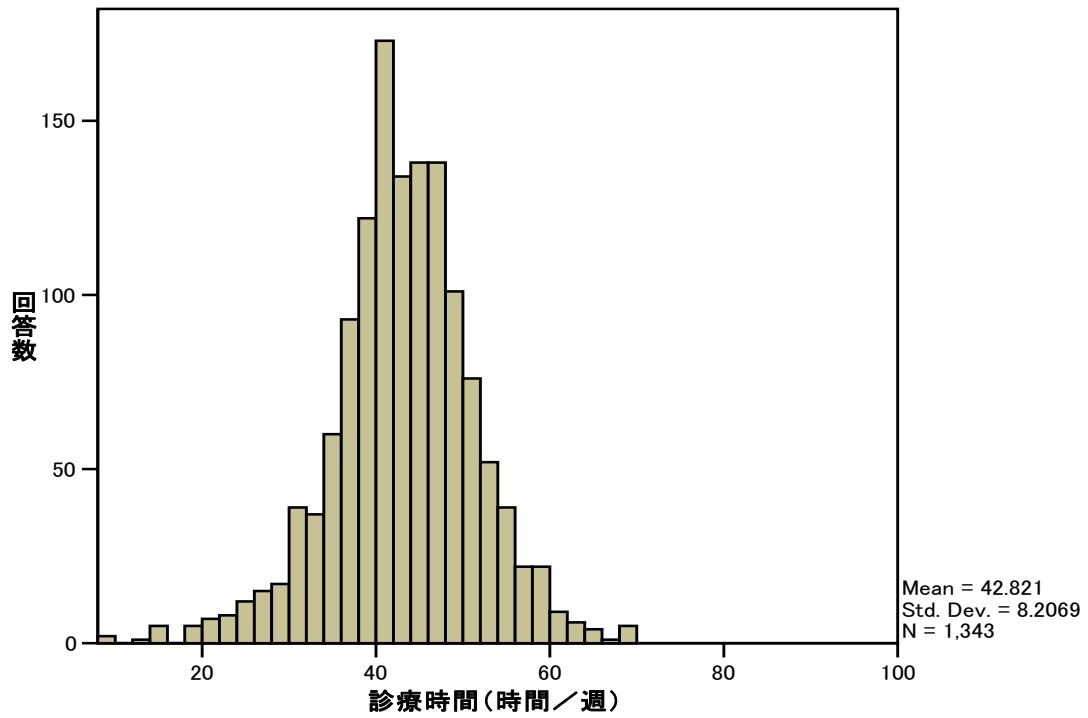
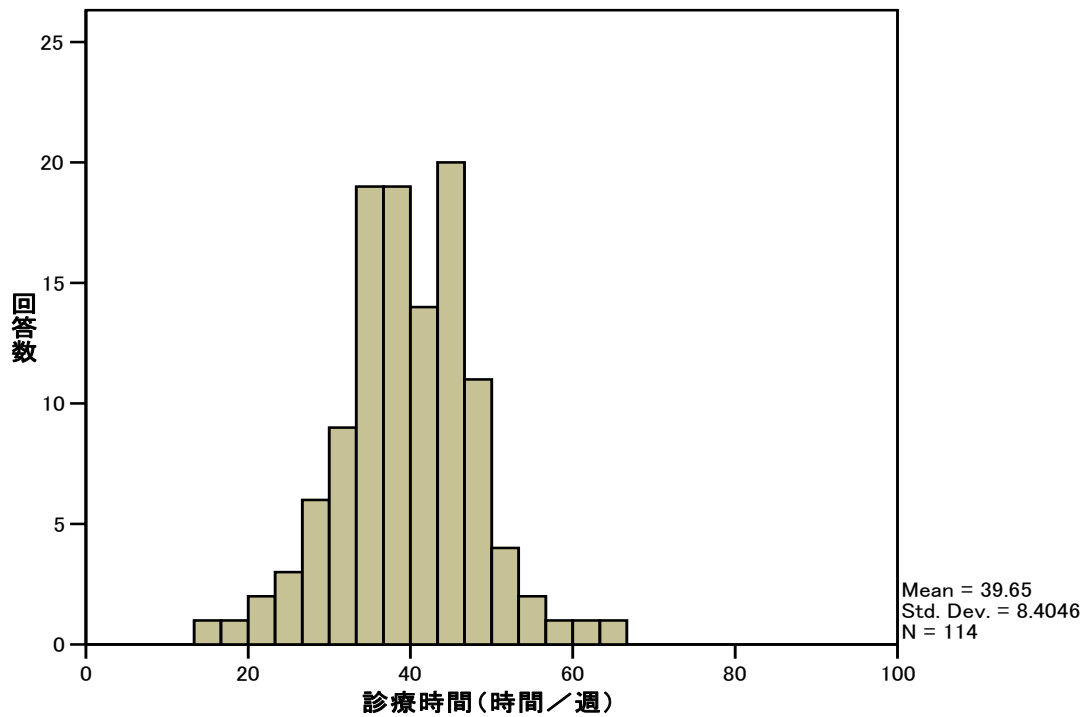


図16 診療所医師(管理者) 1週間の診療時間の分布 -女性- (N=114)



2) 就業時間（診療時間＋診療時間外－自己研修）

1週間の就業時間は、全体で51.2時間であった。もっとも長いのは40歳代で55.3時間であった（図17）。

男性では40歳代がもっとも長く55.5時間であった。このほか30歳代、50歳代、60歳代でも週50時間を超えていた。

女性でも、40歳代がもっとも長く53.9時間であったほか、30歳代、50歳代の年齢階級で50時間を超えていた（図18）。

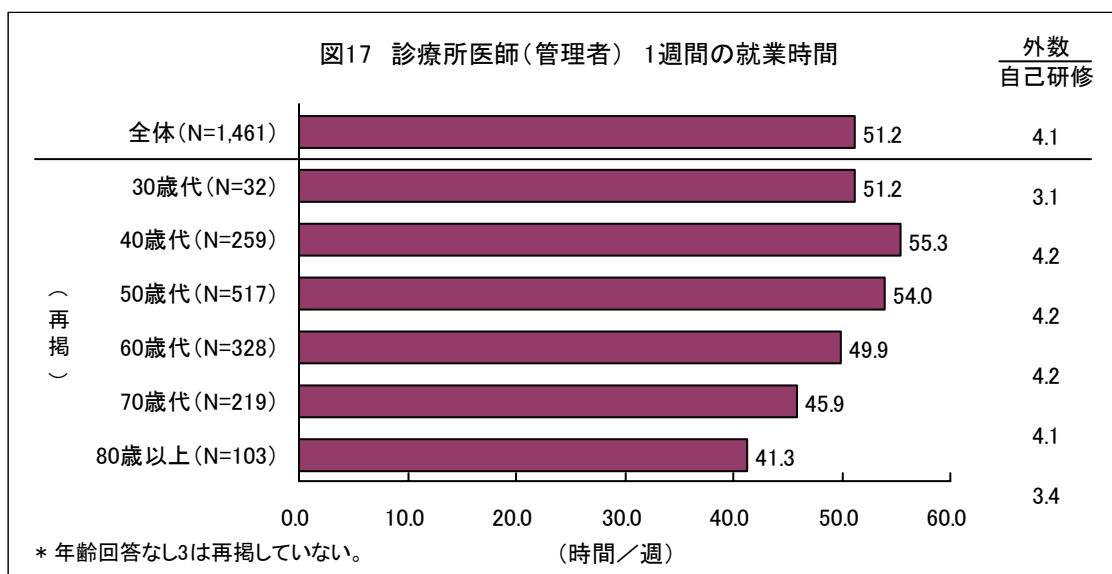
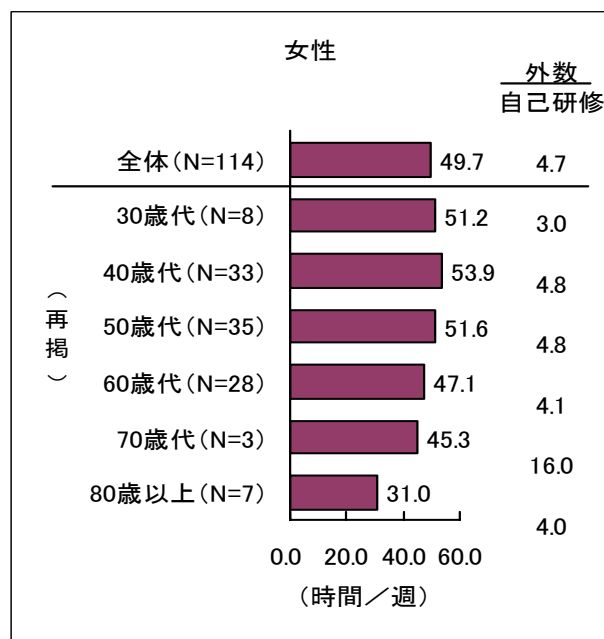
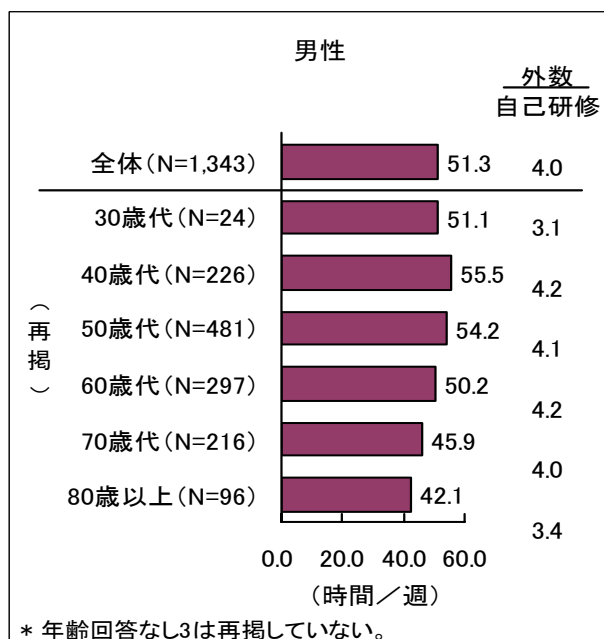


図18 診療所医師（管理者）1週間の就業時間－性別－



* 男性女性とも、20歳代は該当なし。

図19 診療所医師(管理者) 1週間の就業時間のばらつき -男性- (N=1,343)

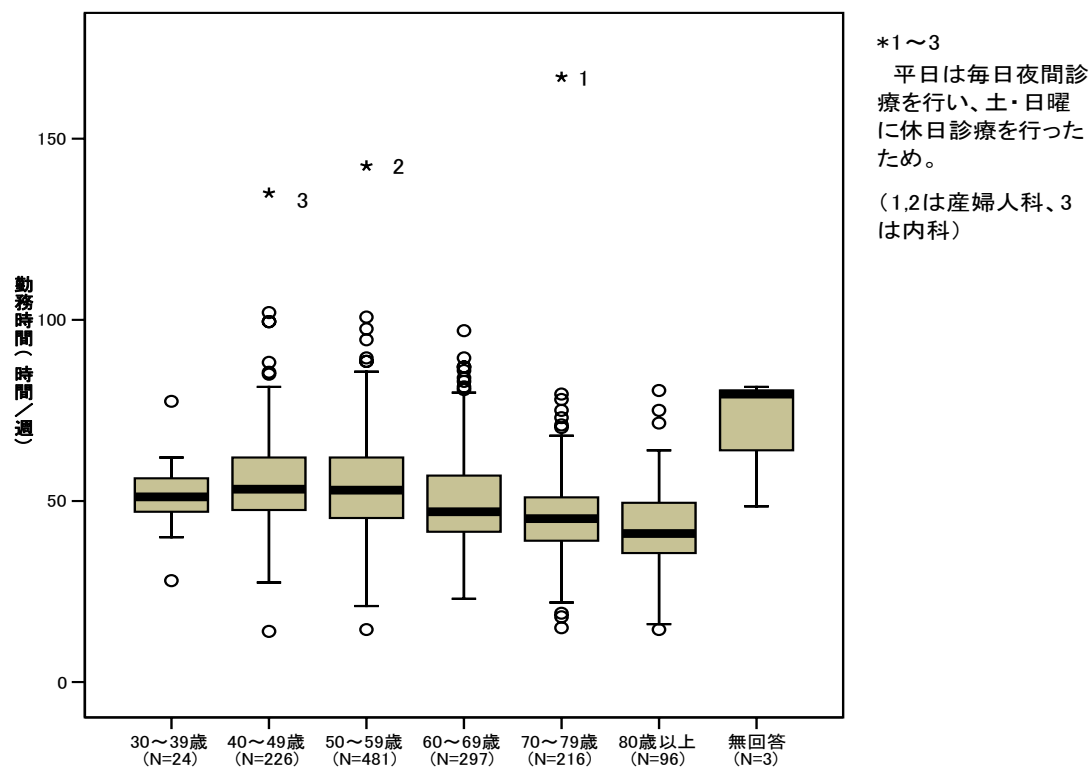


図20 診療所医師(管理者) 1週間の就業時間のばらつき -女性- (N=114)

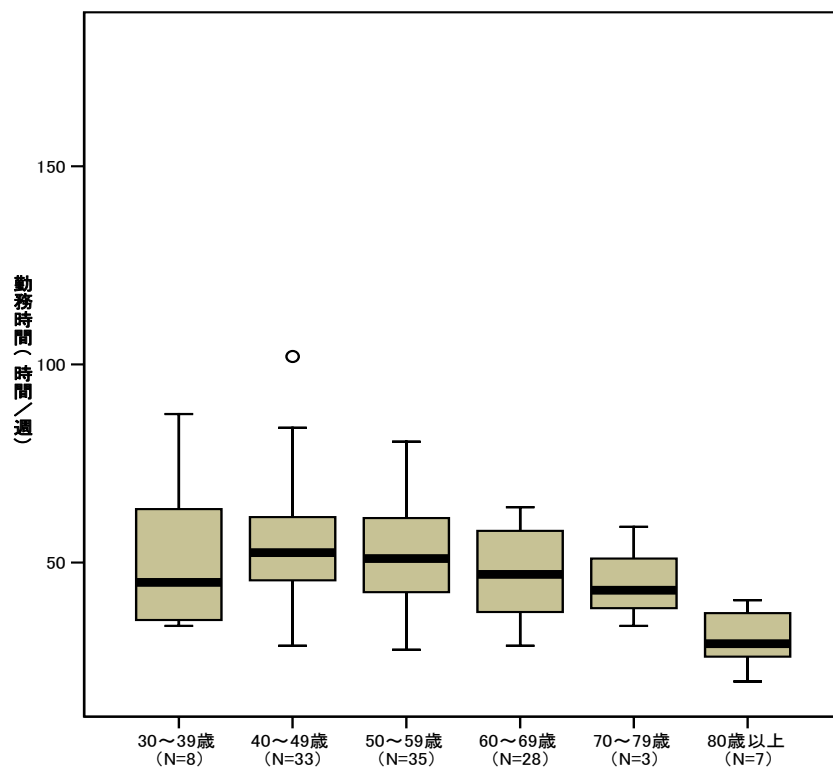


図21 診療所医師(管理者) 1週間の就業時間の分布 -男性- (N=1,343)

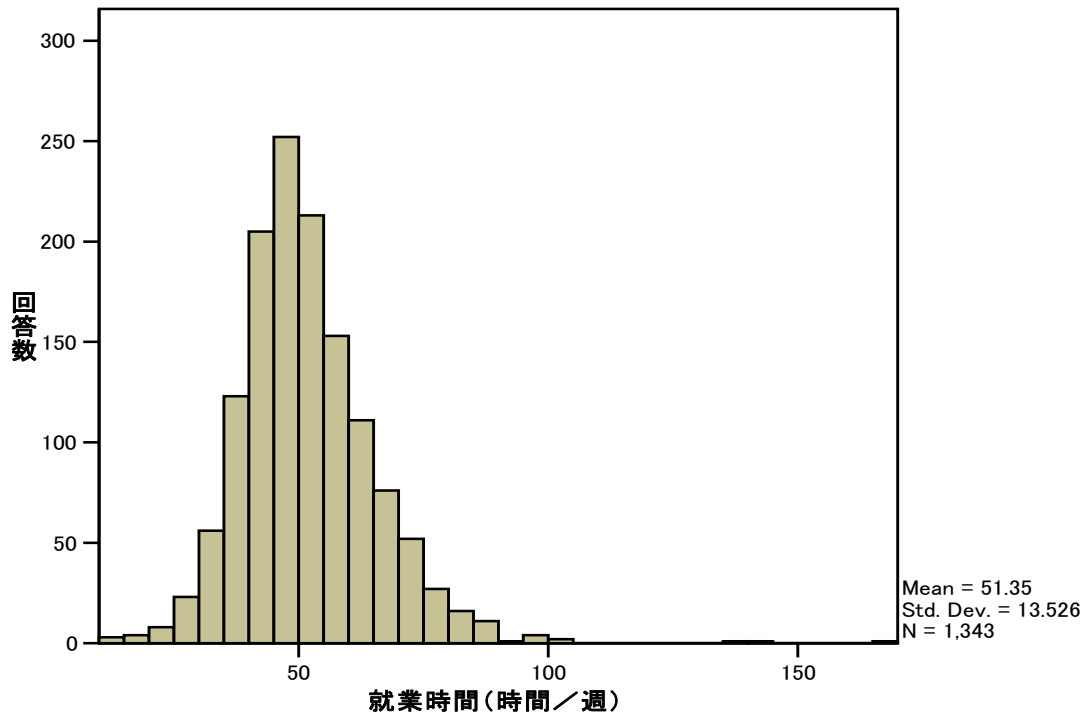
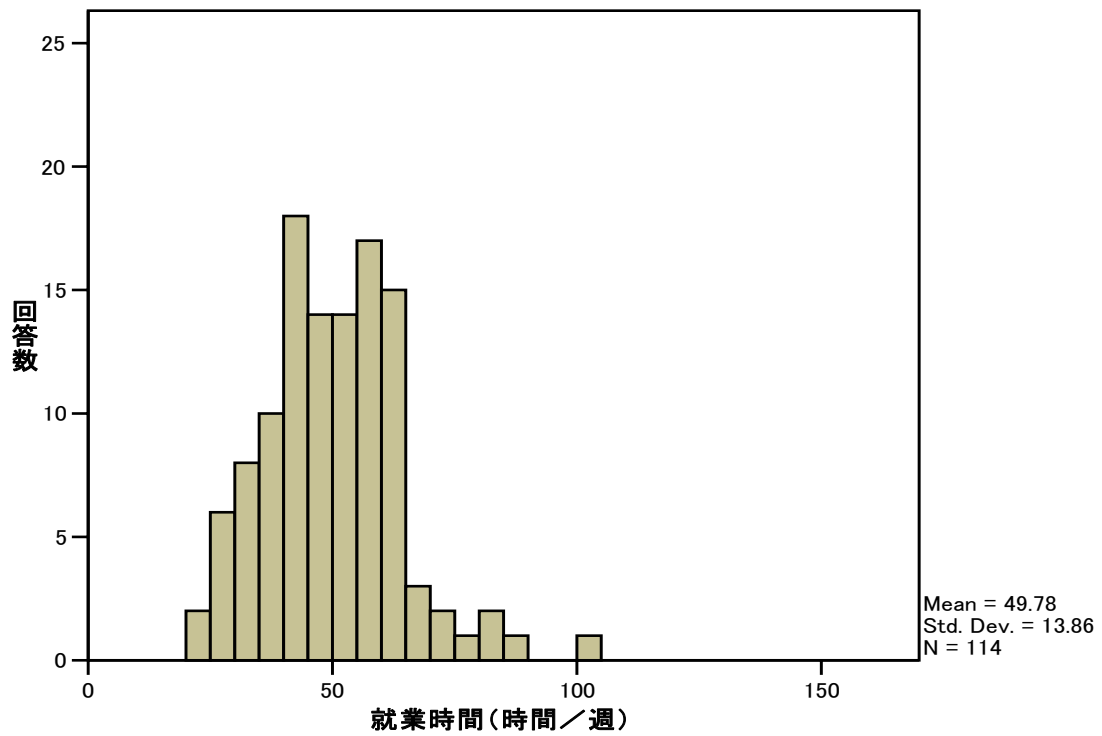


図22 診療所医師(管理者) 1週間の就業時間の分布 -女性- (N=114)

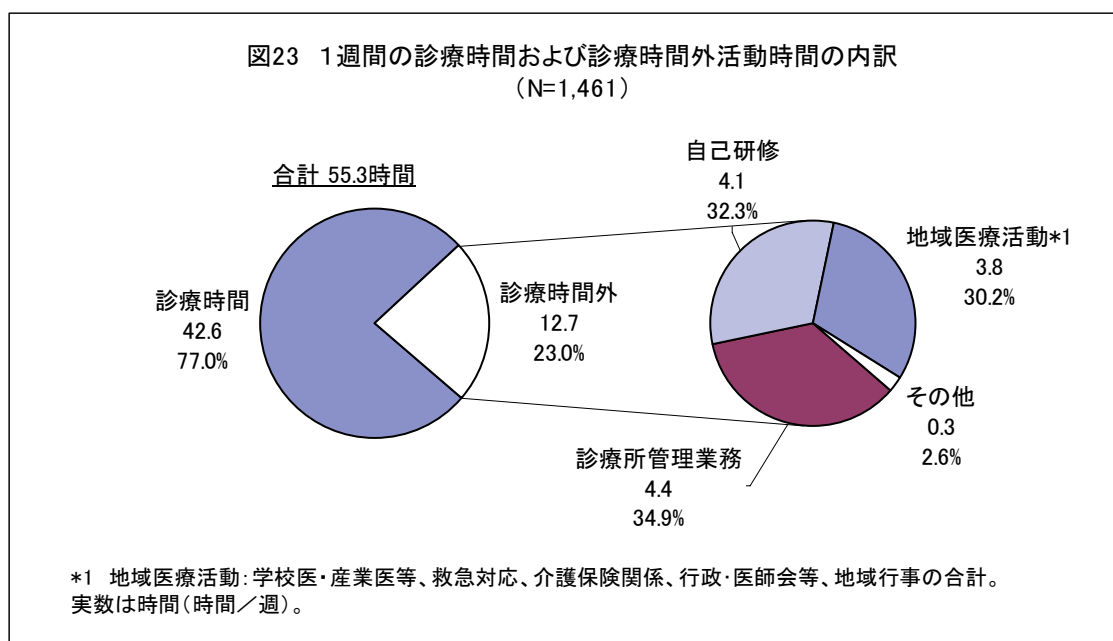


(4) 診療時間外活動の状況

1) 1週間の活動時間

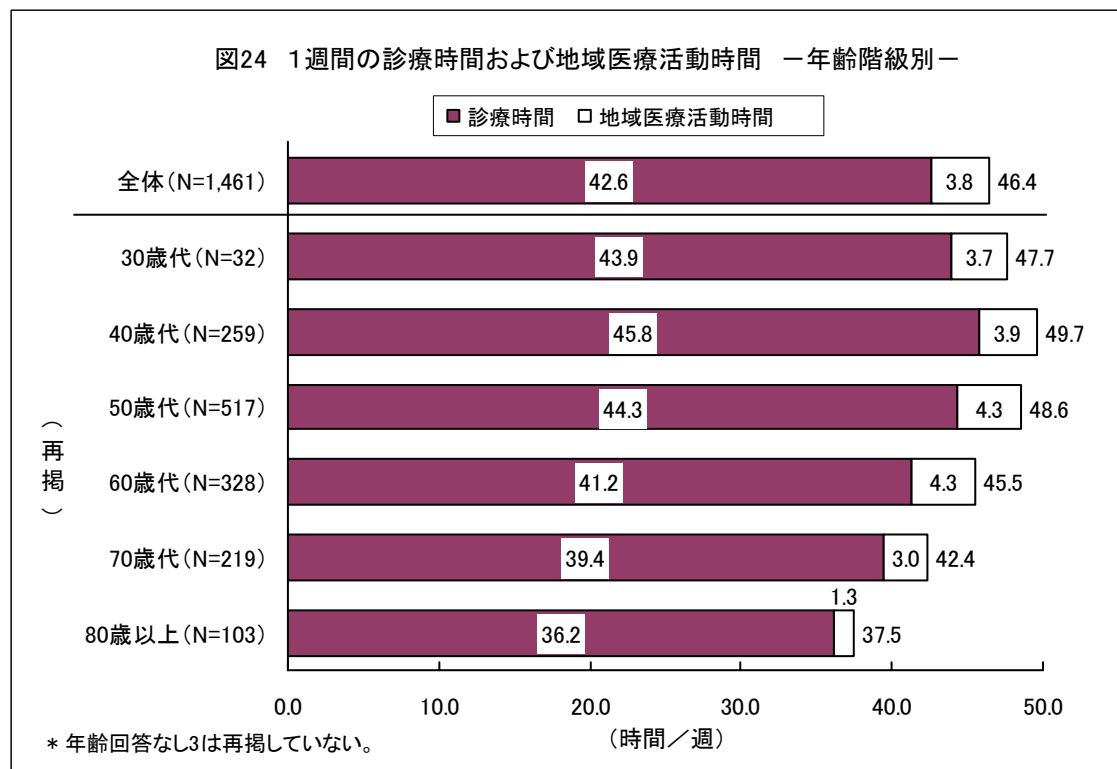
診療所医師（管理者）の診療時間および診療時間外活動時間の合計は、週 55.3 時間、うち診療時間 42.6 時間（77.0%）、診療時間外 12.7 時間（23.0%）であった（図 23）。

診療時間外の内訳は、活動時間の長い順に、診療所管理業務 4.4 時間（診療時間外の活動時間 12.7 時間を 100%とした時 34.9%）、自己研修 4.1 時間（同 32.3%）、地域医療活動 3.8 時間（同 30.2%）であった。



年齢階級別（診療時間および地域医療活動時間）

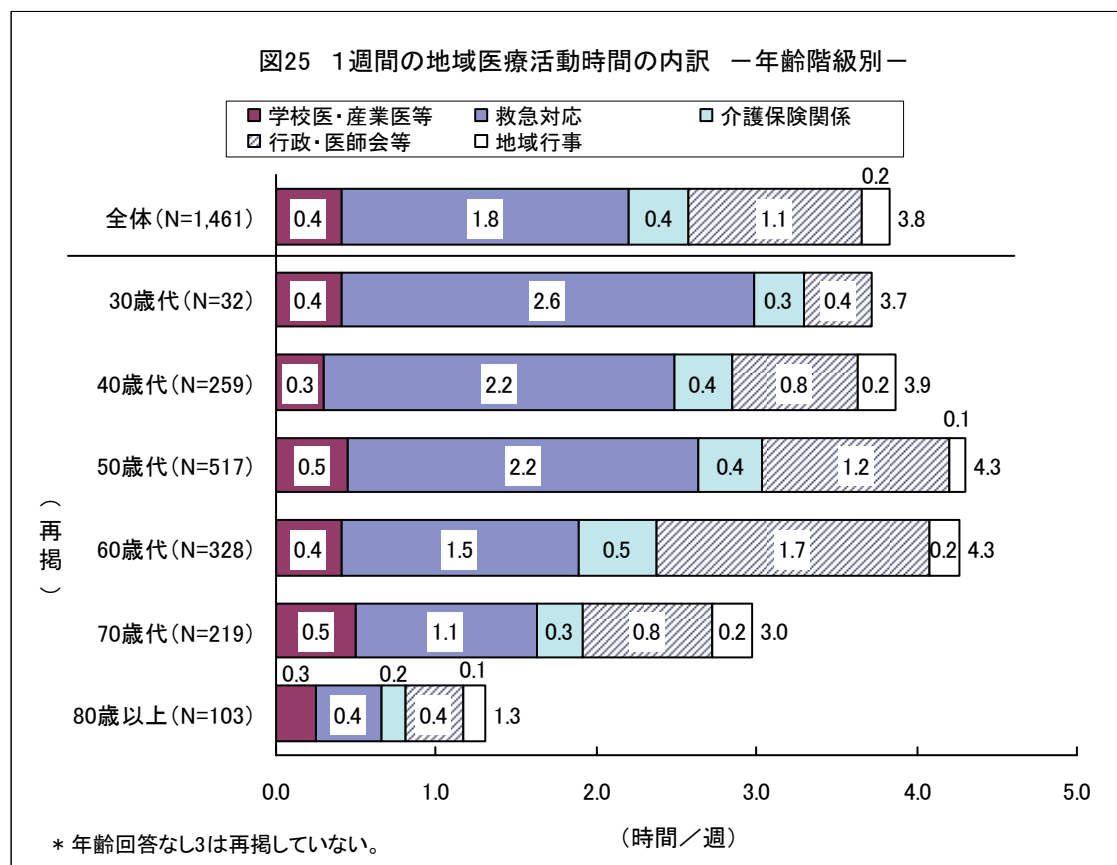
年齢階級別では、40歳代で診療週45.8時間、地域医療活動週3.9時間、計49.7時間であった。50歳代は診療週44.3時間、地域医療活動週4.3時間、計48.6時間であった。60歳代では、自らの診療時間は短くなるが、地域医療活動は週4時間以上であった（図24）。



年齢階級別（地域医療活動時間の内訳）

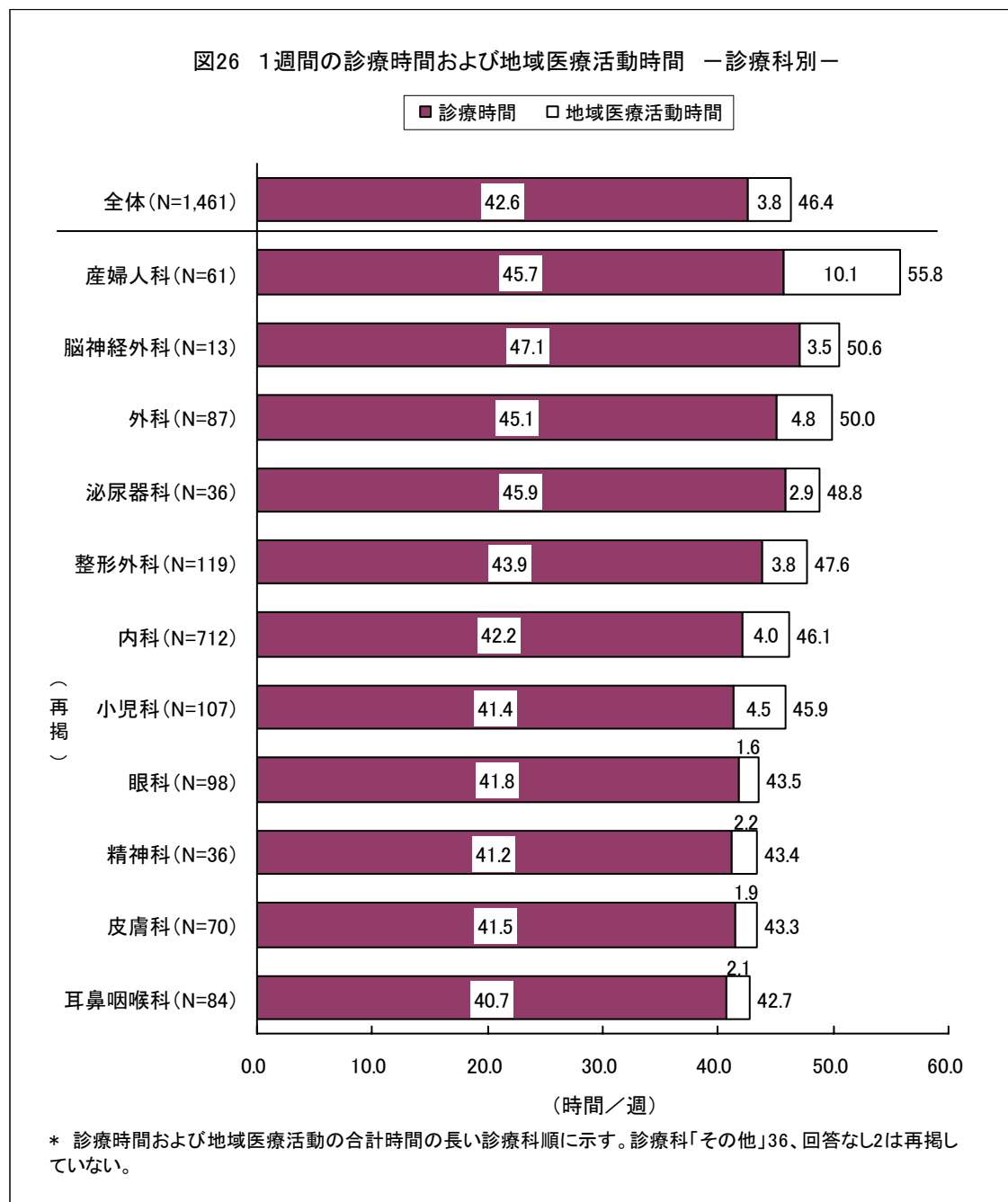
地域医療活動のみに着目すると、30歳代から50歳代で、調査期間内の1週間における救急対応の時間が週2時間を超えていた。

70歳代でも週3時間の地域医療活動を行っていた（図25）。



診療科別（診療時間および地域医療活動時間）

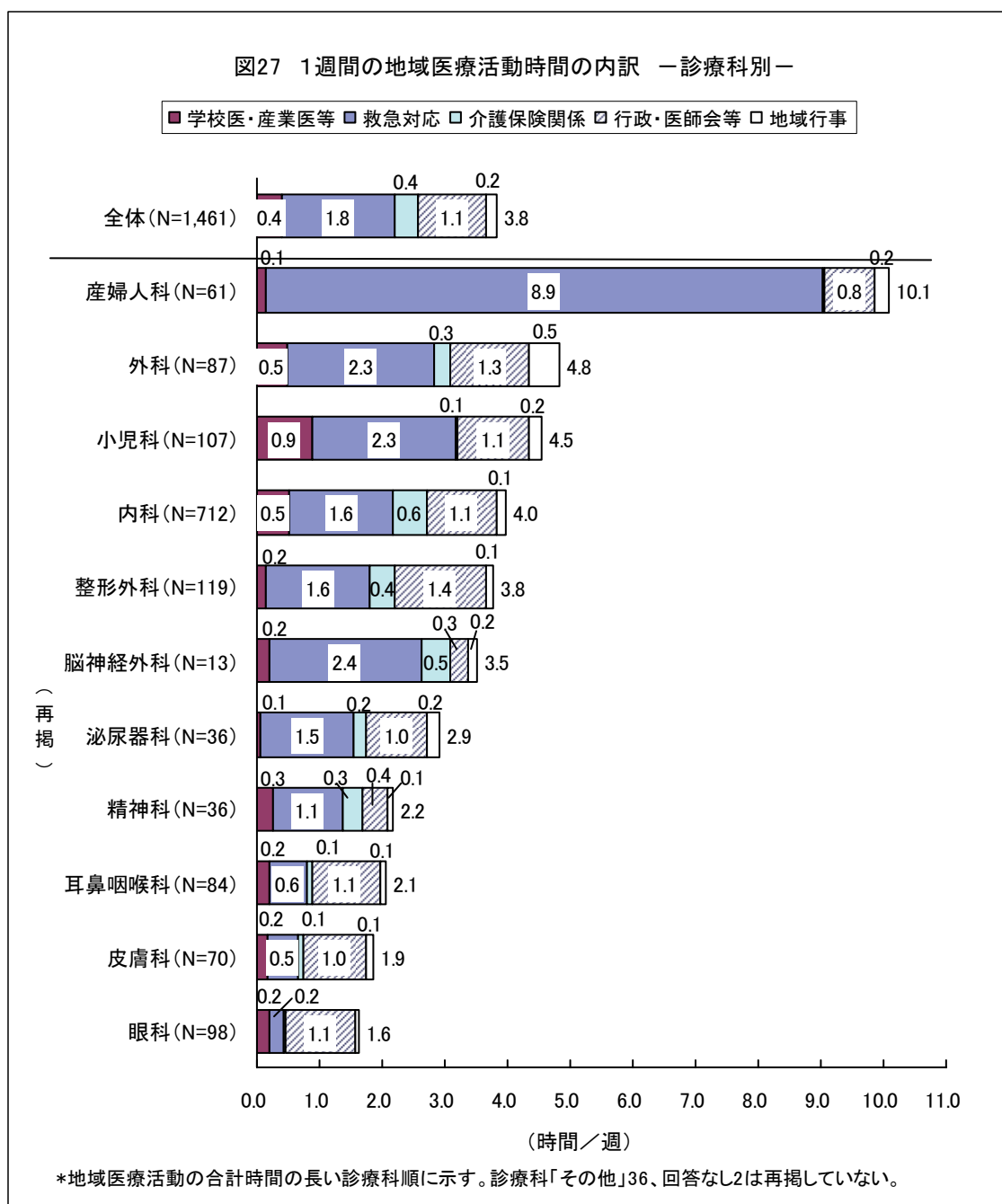
診療科別では、調査期間内における診療および地域医療活動の合計は、産婦人科でもっとも長く、週 55.8 時間であった。特に産婦人科では、地域医療活動（夜間・休日診療を含む）が 10.1 時間であった（図 26）。



診療科別（地域医療活動時間の内訳）

地域医療活動の内訳を診療科別に見てみると、調査期間内の1週間で地域医療活動時間のもっとも長い産婦人科では、救急対応関係（休日診療業務、平日夜間診療業務、小児救急平日夜間診療業務、電話相談業務など）が週8.9時間ときわめて長かった（図27）。

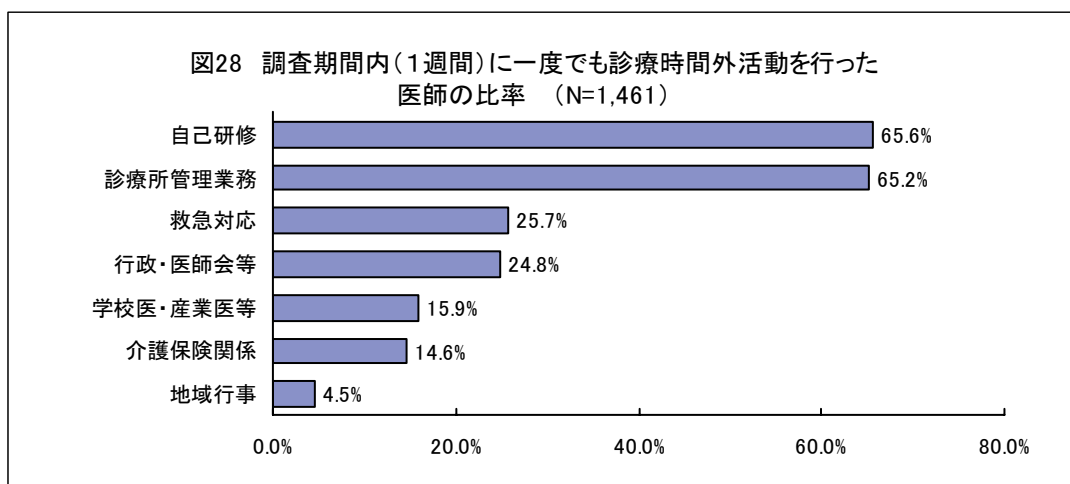
小児科では、学校医・産業医等が週0.9時間であり、他科に比べて長かった。



2) 診療時間外活動への取り組み状況

図 28 は、調査期間内の 1 週間に、一度でも診療時間外活動を行った医師の比率を示している。

自己研修および診療所管理業務は、6 割以上が週に一度は行っている。救急対応は 25.7%、行政・医師会等は 24.8%、学校医・産業医等は 15.9%、介護保険関係は 14.6%、地域行事は 4.5%であった。



年齢階級別

自己研修は、特に年齢階級別の傾向は見られず、約 6 割が調査期間内（1 週間）に一度は行っていた（図 29）。

診療所管理業務は、40 歳代でもっとも高く、40 歳代以降は年齢が高くなるにつれて比率が低くなっていた。

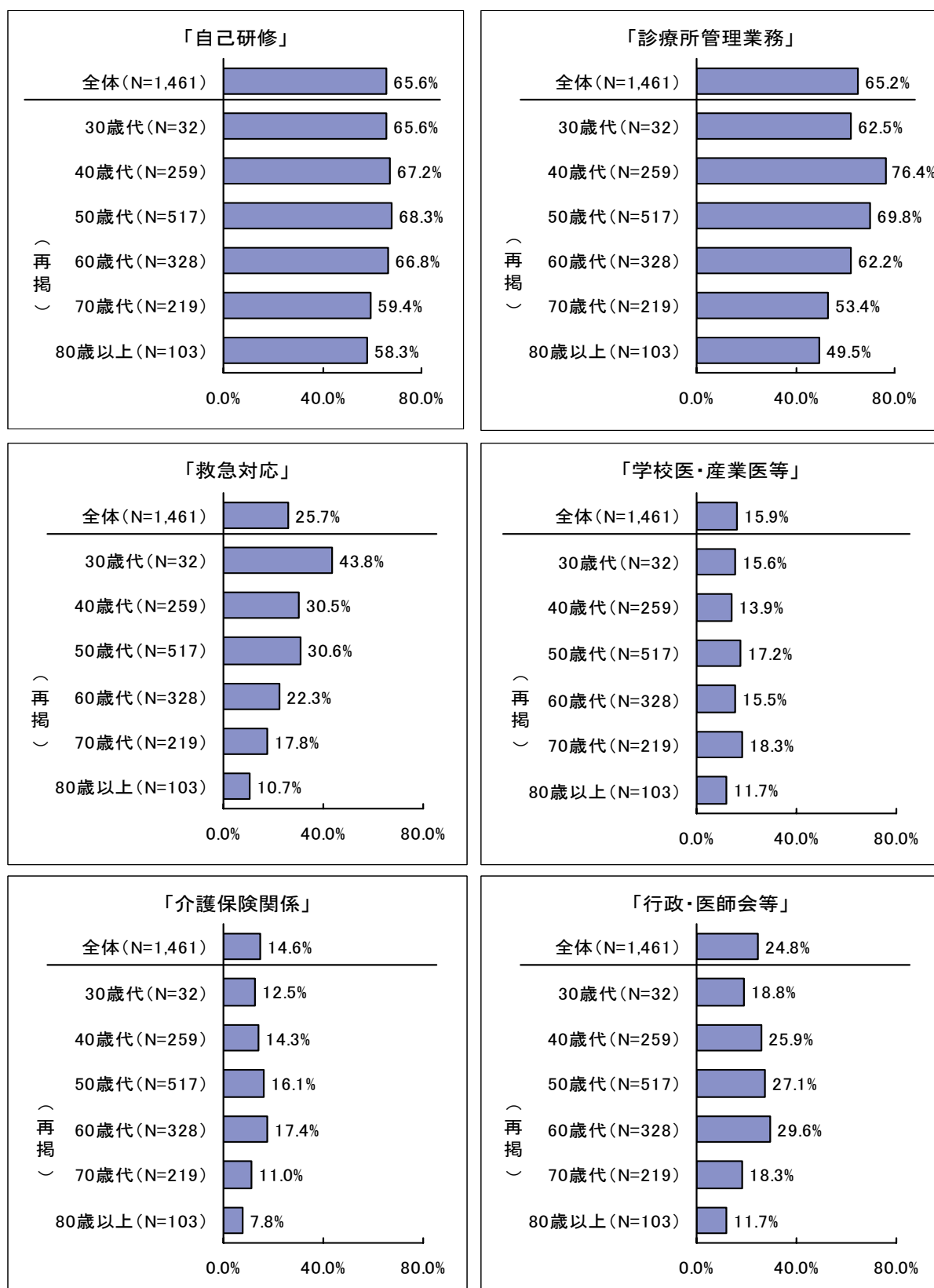
救急対応は、30 歳代で 43.8%が週に一度は行っており、40 歳代でも 30.5%、50 歳代でも 30.6%と約 3 割の医師が取り組んでいた。

学校医・産業医等は、70 歳代で 18.3%、50 歳代で 17.2%の医師が取り組んでいた。

介護保険関係は、60 歳代で 17.4%、50 歳代で 16.1%の医師が取り組んでおり、80 歳以上の取り組みは若干少なかった。

行政・医師会等は、60 歳代で 29.6%、50 歳代で 27.1%、40 歳代で 25.9%が週に一度は行っていた。

図29 調査期間内(1週間)に一度でも時間外活動を行った診療所医師(管理者)の比率 -年齢階級別-



* 年齢回答なし3は再掲していない。

診療科別

自己研修は、泌尿器科（77.8%）、眼科（73.5%）の順で高い比率であったが、診療科別の傾向はあまり見られなかった（図 30）。

診療所管理業務では、精神科（80.6%）、脳神経外科（76.9%）、眼科（74.5%）の順で高い比率であり、診療科による差は見られなかった。

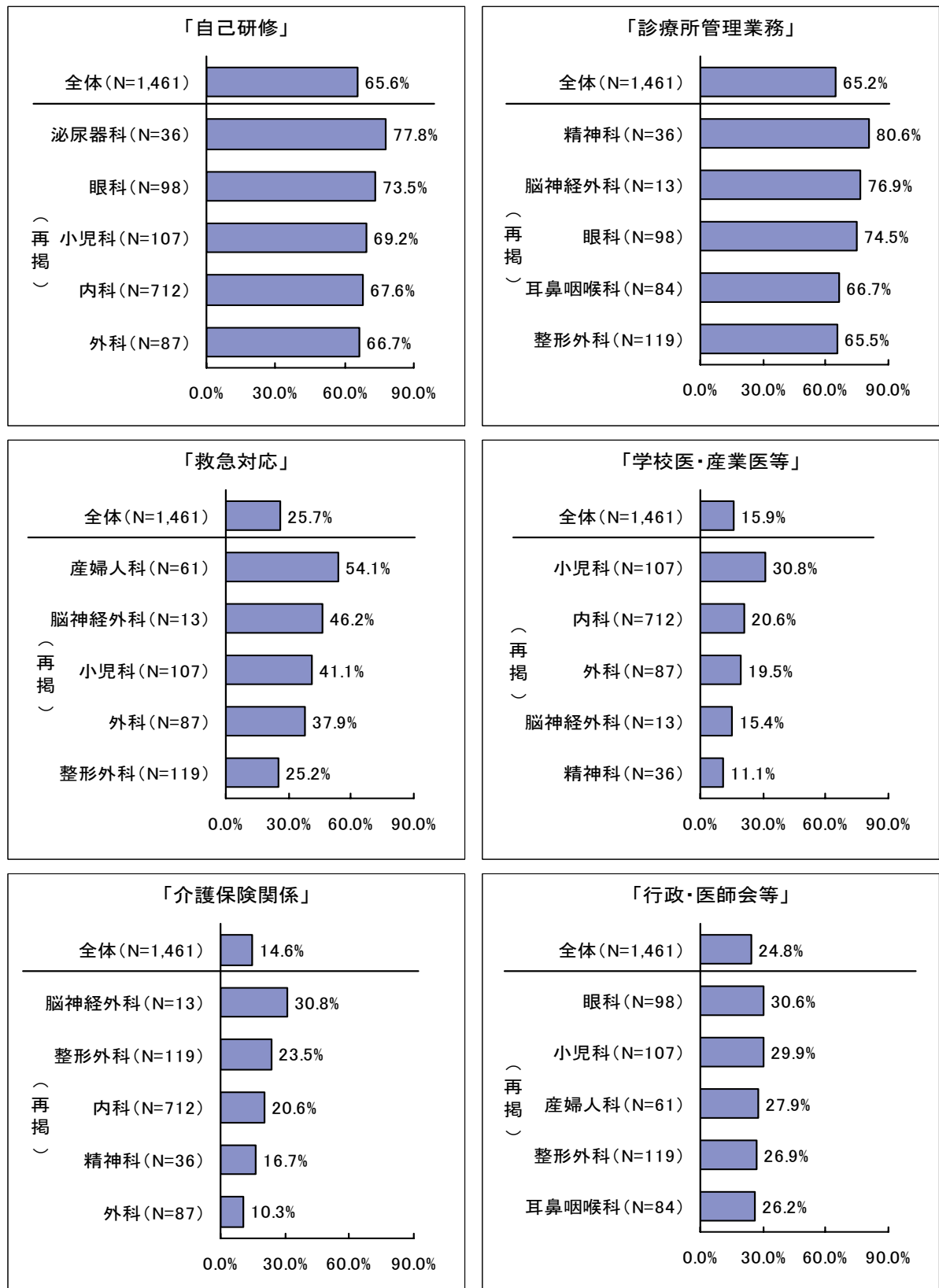
救急対応は、産婦人科で 5 割以上（54.1%）の診療所医師（管理者）が調査期間内の 1 週間に一度は行っており、突出していた。また、脳神経外科で 46.2%、小児科で 41.1%、外科で 37.9%であった。

学校医・産業医等の活動を調査期間内の 1 週間に一度は行っていたのは、小児科で 30.8%と高く、次いで内科の 20.6%であった。

介護保険関係の活動は、脳神経外科で 30.8%、整形外科で 23.5%、内科で 20.6%であった。

行政・医師会等は、眼科で 30.6%、小児科で 29.9%、産婦人科で 27.9%の順で高かったが、診療科別によって特に傾向は見られなかった。

図30 調査期間内(1週間)に一度でも時間外活動を行った診療所医師(管理者)の比率 -診療科別-



* 比率の高い上位5診療科を示す。

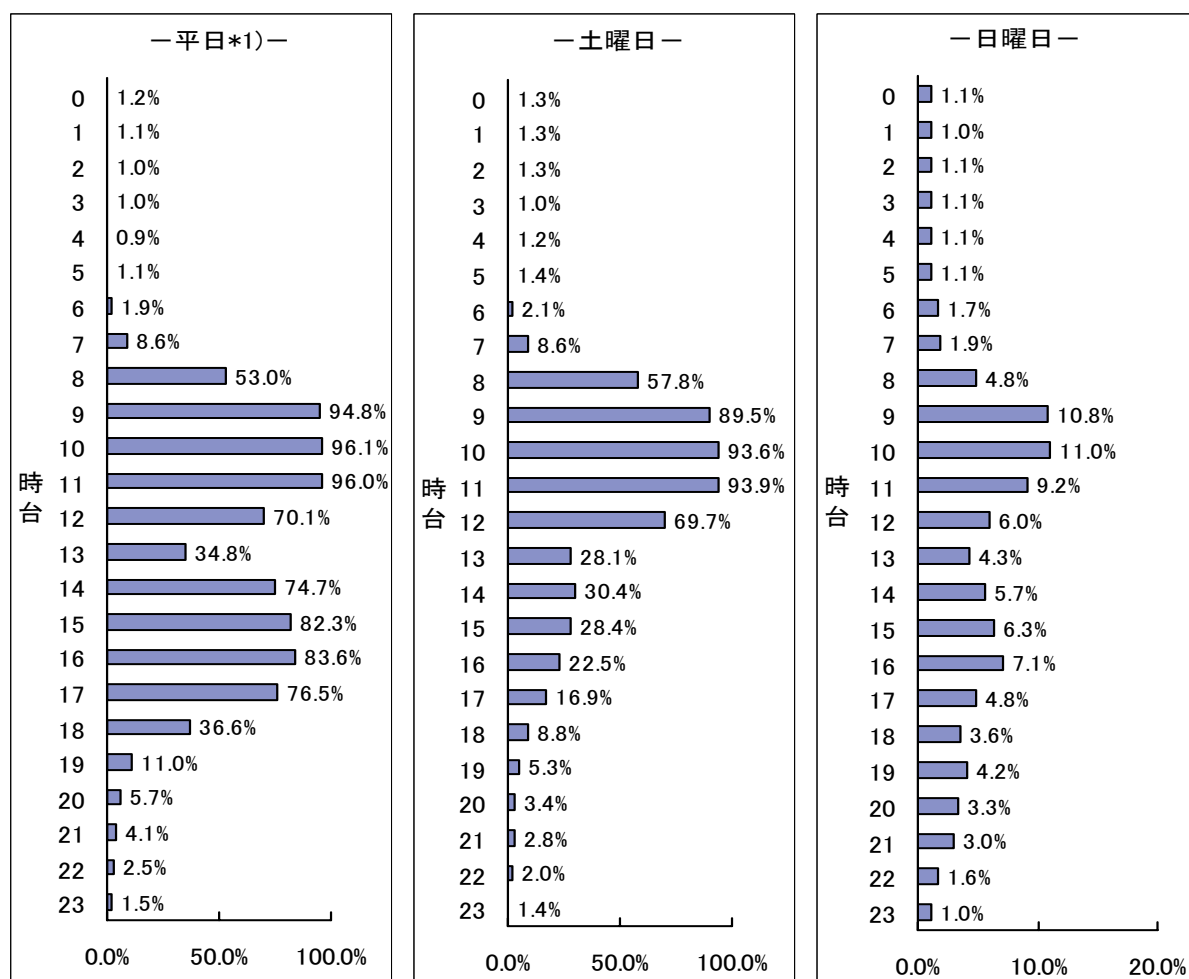
(5) 夜間および休日の診療業務（救急対応を含む）

調査期間内の1週間において、平日の18時台は36.6%と3分の1以上が、診療業務（救急対応を含む）を行っていた。朝は7時台で8.6%、夜は19時台で11.0%、20時台で5.7%が行っていた（図31）。

土曜日についても、午前中は9割以上が診療業務を行っており、午後もおよそ20%以上が診療を行っていた。

日曜日は、午後に4～7%、夜間に3%前後が診療を行っていた。

図31 診療業務（救急対応を含む）を行っている医師の割合（N=1,060）



*1) 平日は、月曜日～金曜日の平均値

* N数は、有効回答数(1,461)から、活動内容または活動の時間帯の記入がない回答を除いたもの。

3. 考察

診療所医師（管理者）の労働時間

診療所医師（管理者）の1週間の診療時間は、40歳代男性で46.2時間と最も長く、男性の30～60歳代、女性の30～50歳代でも週40時間を超えていた。

1週間の就業時間についても、40歳代男性で55.5時間と最も長かったほか、60歳以上を除くと、男性女性とも週50時間を超えていた。

また、診療所医師（管理者）は、日中の診療に加えて、夜間・休日の救急や訪問診療、往診などに携わっている。調査期間中の平日20～21時台では5%前後の診療所医師（管理者）が診療（救急対応を含む）を行っている。土曜日の午後には20%以上、日曜日の午後は4～7%、日曜日夜間も3%前後が診療を行っていた。

診療所医師（管理者）の地域医療活動への取り組み

診療所医師（管理者）は、調査期間内の1週間、平均して診療時間外活動に12.7時間従事していた。このうち、診療所管理業務が最も長く4.4時間、次いで自己研修4.1時間、地域医療活動（学校医・産業医等、救急対応、介護保険関係、行政・医師会等、地域行事）3.8時間であった。

地域医療活動は、年齢階級別では40歳代で週3.9時間、50歳代および60歳代で4.3時間であった。地域医療活動のうち、救急対応については、30～50歳代が週2時間以上従事していた。

また、調査期間（1週間）の診療時間外に、一度でも救急対応に従事した診療所医師（管理者）は25.7%、学校医・産業医等は15.9%であった。特に救急対応に関しては、30歳代で43.8%が1週間に一度は従事していたほか、40歳代で30.5%、50歳代で30.6%と高い比率で従事していた。

厚生労働省は、診療所医師（管理者）に対して、休日・夜間の救急センターに交代出務すること、時間外でも携帯電話で連絡をとれることなどを求めているが⁴⁾、診療所医師（管理者）はすでにそうした活動に携わっており、その他にもさまざまな地域医療活動に取り組んでいることが、あらためてわかった。

⁴⁾ 厚生労働省「医療政策の経緯、現状及び今後の課題について」2007年4月

近年比重が高まっている業務への対応

診療所医師（管理者）の 48.1%が、5 年前と比較して業務の負担が増えたと回答した。そのうち 73.0%の医師が、「医療機関内の診療外業務（事務作業など）が増えた」ことを理由として挙げた。

日医総研の別の調査⁵⁾でも、よりよい医療を実践するための改革や環境整備には、「医療行為以外の業務軽減が必要である」と回答した医師が 61.7%であった。

他方、診療科別に見ると、産婦人科の 66.7%が、業務の負担が増えた理由として、「インフォームド・コンセントに費やす時間が増えた」を挙げていた。インフォームド・コンセントの時間については、他の半数以上の診療科でも「増えた」という回答が 50%を超えていた。

医療機関内の診療外業務（事務作業など）やインフォームド・コンセントのように比較的最近になって比重が高まっている業務に加えて、本調査では質問していないが、安全対策、環境対策の業務も増えているものと推察される。これらの業務についても適正な評価が必要である。

⁵⁾ 江口成美「第 2 回 日本の医療に関する意識調査」日医総研ワーキングペーパーNo.137, 2006 年 12 月

診療所医師の診療時間および診療時間外活動に関する調査結果
(2007年7月実施) 集計表

配布数、回答数、有効回答数、回答率、有効回答率	[集計表 1]
地域別、有床無床別	[集計表 1]
. 回答医療機関のプロフィール	
1 年齢(有床無床別、性別)	[集計表 1]
2 性別(年齢別)	[集計表 2]
3 開業年齢(有床無床別、性別)	[集計表 2]
4 設置主体(有床無床別、性別)	[集計表 3]
5 病床数(有床診療所)	[集計表 3]
6 医業用建物の保有形態(有床無床別)	[集計表 3]
7 医業用建物の延床面積(有床無床別)	[集計表 3]
8 院内・院外処方(有床無床別)	[集計表 3]
9 主たる診療科(有床無床別、性別)	[集計表 4]
10 家族構成(同居の家族)(性別)	[集計表 4]
11 本人、配偶者の就労状況(性別)	[集計表 4]
. 勤務の負担	
1 5年前と比較した勤務の負担(有床無床別、性別、年齢別)	[集計表 5]
5年前と比較した勤務の負担(診療科別)	[集計表 6]
2 「5年前と比較した勤務の負担」が増えている理由(有床無床別、年齢別)	[集計表 7]
「5年前と比較した勤務の負担」が増えている理由(診療科別)	[集計表 8]
3 「5年前と比較した勤務の負担」が増えている回答のうち、「その他」を選択した場合の内容	[集計表 9]
. 1週間の診療時間・診療時間外の活動	
1 有床無床別、性別	[集計表 13]
2 診療科別	[集計表 13]
3 年齢別・性別	[集計表 14]
4 曜日別(総時間数、一人当たり平均時間数)	[集計表 15]
5 診療業務(救急対応を含む)を行っている時間帯	[集計表 16]
. 1週間に一度でも診療時間外活動を行った診療所医師(管理者)	
1 年齢別	[集計表 17]
2 診療科別	[集計表 18]
. 活動内容として記入された内容(例)	[集計表 19]

. 配布数、回答数、回答率、有効回答数、有効回答率

配布数、回答数、回答構成比

	配布数			回答数			回答構成比		
		有床	無床		有床	無床		有床	無床
北海道札幌市	826	455	371	392	69	323	25.3%	18.1%	27.7%
東京都板橋区	300	84	216	143	16	127	9.2%	4.2%	10.9%
山口県	1,051	538	513	562	97	465	36.3%	25.4%	39.8%
鹿児島県	1,024	596	428	453	200	253	29.2%	52.4%	21.7%
計	3,201	1,673	1,528	1,550	382	1,168	100.0%	100.0%	100.0%

有効回答数、有効回答構成比

	有効回答数			有効回答構成比		
		有床	無床		有床	無床
北海道札幌市	364	64	300	24.9%	17.5%	27.4%
東京都板橋区	129	14	115	8.8%	3.8%	10.5%
山口県	536	94	442	36.7%	25.8%	40.3%
鹿児島県	432	193	239	29.6%	52.9%	21.8%
計	1,461	365	1,096	100.0%	100.0%	100.0%

回答率、有効回答率

	回答率			有効回答率		
		有床	無床		有床	無床
北海道札幌市	47.5%	15.2%	87.1%	44.1%	14.1%	80.9%
東京都23区	47.7%	19.0%	58.8%	43.0%	16.7%	53.2%
山口県	53.5%	18.0%	90.6%	51.0%	17.5%	86.2%
鹿児島県	44.2%	33.6%	59.1%	42.2%	32.4%	55.8%
全国	48.4%	22.8%	76.4%	45.6%	21.8%	71.7%

地域別、有床無床診療所構成比(有効回答、施設数)

	有効回答			施設数*1)			施設構成比		
	有床	無床	計	有床	無床	計	有床	無床	計
北海道札幌市	17.6%	82.4%	100.0%	196	1,032	1,228	16.0%	84.0%	100.0%
東京都23区	10.9%	89.1%	100.0%	752	8,616	9,368	8.0%	92.0%	100.0%
山口県	17.5%	82.5%	100.0%	227	1,094	1,321	17.2%	82.8%	100.0%
鹿児島県	44.7%	55.3%	100.0%	416	926	1,342	31.0%	69.0%	100.0%
全国	25.0%	75.0%	100.0%	12,552	86,681	99,233	12.6%	87.4%	100.0%

*1) 地域別施設数は、厚生労働省「平成17年医療施設調査」より。全国の施設数は、厚生労働省「医療施設動態調査(平成19年6月末概数)」より。

. 回答医療機関のプロフィール

1 年齢

(1) 有床無床別

	有床		無床		全体		全国*1)	
		構成比		構成比		構成比		構成比
29歳以下	-	-	-	-	-	-	66	0.1%
30歳代	6	1.6%	26	2.4%	32	2.2%	2,777	3.9%
40歳代	63	17.3%	196	17.9%	259	17.7%	16,357	23.1%
50歳代	132	36.2%	385	35.1%	517	35.4%	20,916	29.6%
60歳代	88	24.1%	240	21.9%	328	22.5%	12,857	18.2%
70歳代	55	15.1%	164	15.0%	219	15.0%	13,898	19.6%
80歳以上	20	5.5%	83	7.6%	103	7.0%	3,957	5.6%
無回答	1	0.3%	2	0.2%	3	0.2%	0	0.0%
計	365	100.0%	1,096	100.0%	1,461	100.0%	70,762	100.0%

*1) 厚生労働省「平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査」より、開設者又は法人の代表者数。

(2) 性別

	男		女		無回答		全体	
		構成比		構成比		構成比		構成比
30歳代	24	1.8%	8	7.0%	-	-	32	2.2%
40歳代	226	16.8%	33	28.9%	-	-	259	17.7%
50歳代	481	35.8%	35	30.7%	1	25.0%	517	35.4%
60歳代	297	22.1%	28	24.6%	3	75.0%	328	22.5%
70歳代	216	16.1%	3	2.6%	-	-	219	15.0%
80歳以上	96	7.1%	7	6.1%	-	-	103	7.0%
無回答	3	0.2%	-	-	-	-	3	0.2%
計	1,343	100.0%	114	100.0%	4	100.0%	1,461	100.0%

2 性別

年代別構成比

	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	全体
男	75.0%	87.3%	93.0%	90.5%	98.6%	93.2%	100.0%	91.9%
女	25.0%	12.7%	6.8%	8.5%	1.4%	6.8%	-	7.8%
無回答	-	-	0.2%	0.9%	-	-	-	0.3%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3 開業年齢

(1) 有床無床別

	有床		無床		全体	
		構成比		構成比		構成比
29歳以下	6	1.6%	14	1.3%	20	1.4%
30歳代	171	46.8%	436	39.8%	607	41.5%
40歳代	154	42.2%	491	44.8%	645	44.1%
50歳代	16	4.4%	100	9.1%	116	7.9%
60歳代	5	1.4%	23	2.1%	28	1.9%
70歳代	-	-	4	0.4%	4	0.3%
80歳以上	-	-	2	0.2%	2	0.1%
無回答	13	3.6%	26	2.4%	39	2.7%
計	365	100.0%	1,096	100.0%	1,461	100.0%

(2) 性別

	男		女		無回答		全体	
		構成比		構成比		構成比		構成比
29歳以下	18	1.3%	2	1.8%	-	-	20	1.4%
30歳代	552	41.1%	54	47.4%	1	25.0%	607	41.5%
40歳代	600	44.7%	43	37.7%	2	50.0%	645	44.1%
50歳代	108	8.0%	7	6.1%	1	25.0%	116	7.9%
60歳代	25	1.9%	3	2.6%	-	-	28	1.9%
70歳代	4	0.3%	-	-	-	-	4	0.3%
80歳以上	2	0.1%	-	-	-	-	2	0.1%
無回答	34	2.5%	5	4.4%	-	-	39	2.7%
計	1,343	100.0%	114	100.0%	4	100.0%	1,461	100.0%

4 設置主体

(1) 有床無床別

	有床		無床		全体	
		構成比		構成比		構成比
個人	82	22.5%	473	43.2%	555	38.0%
法人	283	77.5%	623	56.8%	906	62.0%
計	365	100.0%	1,096	100.0%	1,461	100.0%

(2) 性別

	男		女		無回答		全体	
		構成比		構成比		構成比		構成比
個人	501	37.3%	53	46.5%	1	25.0%	555	38.0%
法人	842	62.7%	61	53.5%	3	75.0%	906	62.0%
計	1,343	100.0%	114	100.0%	4	100.0%	1,461	100.0%

5 病床数(有床診療所)

	回答数	
		構成比
1～4床	37	10.1%
5～9床	33	9.0%
10～14床	39	10.7%
15～19床	245	67.1%
無回答	11	3.0%
計	365	100.0%

6 医業用建物の保有形態

有床無床別

	有床		無床		全体	
		構成比		構成比		構成比
自己所有	283	77.5%	705	64.3%	988	67.6%
賃貸	60	16.4%	369	33.7%	429	29.4%
その他	17	4.7%	20	1.8%	37	2.5%
無回答	5	1.4%	2	0.2%	7	0.5%
計	365	100.0%	1,096	100.0%	1,461	100.0%

7 医業用建物の延床面積

有床無床別

(単位:m²)

	有床		無床		全体	
	平均値	回答数	平均値	回答数	平均値	回答数
自己所有	907.1	283	397.3	705	545.2	988
賃貸	750.1	60	206.6	369	280.0	429
その他	1,183.7	17	235.1	20	739.0	37
無回答	812.7	5	357.1	2	721.6	7
計	895.6	365	329.1	1,096	471.8	1,461

8 院内・院外処方

有床無床別

	有床		無床		全体	
		構成比		構成比		構成比
主として院内処方	171	46.8%	449	41.0%	620	42.4%
主として院外処方	193	52.9%	637	58.1%	830	56.8%
無回答	1	0.3%	10	0.9%	11	0.8%
計	365	100.0%	1,096	100.0%	1,461	100.0%

9 主たる診療科

有床無床別、性別

	有床無床別				性別						全体	
	有床		無床		男		女		無回答			
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
内科	139	38.1%	573	52.3%	674	50.2%	37	32.5%	1	25.0%	712	48.7%
整形外科	50	13.7%	69	6.3%	117	8.7%	1	0.9%	1	25.0%	119	8.1%
皮膚科	2	0.5%	68	6.2%	55	4.1%	15	13.2%	-	-	70	4.8%
小児科	6	1.6%	101	9.2%	94	7.0%	13	11.4%	-	-	107	7.3%
産婦人科	54	14.8%	7	0.6%	55	4.1%	6	5.3%	-	-	61	4.2%
泌尿器科	16	4.4%	20	1.8%	35	2.6%	-	-	1	25.0%	36	2.5%
精神科	-	-	36	3.3%	32	2.4%	4	3.5%	-	-	36	2.5%
眼科	26	7.1%	72	6.6%	76	5.7%	22	19.3%	-	-	98	6.7%
脳神経外科	5	1.4%	8	0.7%	13	1.0%	-	-	-	-	13	0.9%
外科	46	12.6%	41	3.7%	85	6.3%	2	1.8%	-	-	87	6.0%
耳鼻咽喉科	7	1.9%	77	7.0%	71	5.3%	12	10.5%	1	25.0%	84	5.7%
その他	13	3.6%	23	2.1%	34	2.5%	2	1.8%	-	-	36	2.5%
無回答	1	0.3%	1	0.1%	2	0.1%	-	-	-	-	2	0.1%
計	365	100.0%	1,096	100.0%	1,343	100.0%	114	100.0%	4	100.0%	1,461	100.0%

*その他の内訳

〔胃腸科8、麻酔科4、放射線科4、人工透析3、神経内科3、形成外科3、肛門科2、心療内科・神経科2、循環器科2、婦人科1、乳腺外科1、透析1、消化器科1、胃腸科・肛門科1〕

10 家族構成(同居の家族)

性別

	男		女		無回答		全体	
		構成比		構成比		構成比		構成比
本人のみ(独身)	42	3.1%	21	18.4%	-	-	63	4.3%
夫婦二人	555	41.3%	28	24.6%	2	50.0%	585	40.0%
夫婦と子ども	593	44.2%	36	31.6%	1	25.0%	630	43.1%
夫婦と子どもと夫婦の親(3世帯)	69	5.1%	2	1.8%	1	25.0%	72	4.9%
夫婦と夫婦の親	34	2.5%	2	1.8%	-	-	36	2.5%
その他	44	3.3%	25	21.9%	-	-	69	4.7%
無回答	6	0.4%	-	-	-	-	6	0.4%
計	1,343	100.0%	114	100.0%	4	100.0%	1,461	100.0%

11 本人、配偶者の就労状況

(1) 性別

	男		女		無回答		全体	
		構成比		構成比		構成比		構成比
本人のみ	449	33.4%	46	40.4%	2	50.0%	497	34.0%
夫婦共働きで、配偶者はフルタイム勤務	509	37.9%	62	54.4%	-	-	571	39.1%
夫婦共働きで、配偶者はパートタイム勤務	291	21.7%	3	2.6%	1	25.0%	295	20.2%
その他	88	6.6%	3	2.6%	1	25.0%	92	6.3%
無回答	6	0.4%	-	-	-	-	6	0.4%
計	1,343	100.0%	114	100.0%	4	100.0%	1,461	100.0%

. 勤務の負担

1 5年前と比較した勤務の負担

(1) 有床無床別 (診療所を開設して5年以上を抽出)

	有床		無床		全体	
		構成比		構成比		構成比
増えている	182	45.3%	417	48.1%	599	48.1%
減っている	76	29.7%	273	28.0%	349	28.0%
変わらない	61	23.7%	218	22.4%	279	22.4%
わからない	6	1.3%	12	1.4%	18	1.4%
計	325	100.0%	920	100.0%	1,245	100.0%

(2) 性別 (診療所を開設して5年以上を抽出)

	男		女		無回答		全体	
		構成比		構成比		構成比		構成比
増えている	546	47.4%	52	59.1%	1	25.0%	599	48.1%
減っている	326	28.3%	22	25.0%	1	25.0%	349	28.0%
変わらない	263	22.8%	14	15.9%	2	50.0%	279	22.4%
わからない	18	1.6%	-	-	-	-	18	1.4%
計	1,153	100.0%	88	100.0%	4	100.0%	1,245	100.0%

(3) 年齢別 (診療所を開設して5年以上を抽出)

回答数

	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
増えている	6	106	279	128	58	22	599
減っている	-	7	68	110	110	54	349
変わらない	-	34	113	72	40	20	279
わからない	-	1	8	3	3	3	18
計	6	148	468	313	211	99	1,245

構成比

	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
増えている	100.0%	71.6%	59.6%	40.9%	27.5%	22.2%	48.1%
減っている	-	4.7%	14.5%	35.1%	52.1%	54.5%	28.0%
変わらない	-	23.0%	24.1%	23.0%	19.0%	20.2%	22.4%
わからない	-	0.7%	1.7%	1.0%	1.4%	3.0%	1.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

5年前と比較した勤務の負担

(4) 診療科別(診療所を開設して5年以上を抽出)

回答数

	増えている	減っている	変わらない	わからない	全体
内科	292	205	116	8	621
整形外科	55	22	23	3	103
皮膚科	32	7	19	1	59
小児科	37	25	25	-	87
産婦人科	24	15	9	1	49
泌尿器科	18	5	6	2	31
精神科	23	1	4	1	29
眼科	34	19	23	1	77
脳神経外科	8	1	-	-	9
外科	33	26	20	-	79
耳鼻咽喉科	23	20	25	1	69
その他	19	3	8	1	31
無回答	1	-	-	-	1
計	599	349	278	19	1,245

構成比

	増えている	減っている	変わらない	わからない	全体
内科	47.0%	33.0%	18.7%	1.3%	100.0%
整形外科	53.4%	21.4%	22.3%	2.9%	100.0%
皮膚科	54.2%	11.9%	32.2%	1.7%	100.0%
小児科	42.5%	28.7%	28.7%	-	100.0%
産婦人科	49.0%	30.6%	18.4%	2.0%	100.0%
泌尿器科	58.1%	16.1%	19.4%	6.5%	100.0%
精神科	79.3%	3.4%	13.8%	3.4%	100.0%
眼科	44.2%	24.7%	29.9%	1.3%	100.0%
脳神経外科	88.9%	11.1%	-	-	100.0%
外科	41.8%	32.9%	25.3%	-	100.0%
耳鼻咽喉科	33.3%	29.0%	36.2%	1.4%	100.0%
その他	61.3%	9.7%	25.8%	3.2%	100.0%
無回答	100.0%	-	-	-	100.0%
計	48.1%	28.0%	22.3%	1.5%	100.0%

2 「5年前と比較した勤務の負担」が増えている理由（複数回答）

(1) 有床無床別（診療所を開設して5年以上を抽出）

回答数

	N数	外来患者数が増えた	入院患者数が増えた	インフォームド・コンセントに費やす時間が増えた	訪問診療が増えた	医療機関内の診療外業務（事務作業など）が増えた	その他
有床	182	54	23	98	18	144	51
無床	417	174	1	211	72	293	101
全体	599	228	24	309	90	437	152

比率

	外来患者数が増えた	入院患者数が増えた	インフォームド・コンセントに費やす時間が増えた	訪問診療が増えた	医療機関内の診療外業務（事務作業など）が増えた	その他
有床	29.7%	12.6%	53.8%	9.9%	79.1%	28.0%
無床	41.7%	0.2%	50.6%	17.3%	70.3%	24.2%
全体	38.1%	4.0%	51.6%	15.0%	73.0%	25.4%

(2) 年齢別（診療所を開設して5年以上を抽出）

回答数

	N数	外来患者数が増えた	入院患者数が増えた	インフォームド・コンセントに費やす時間が増えた	訪問診療が増えた	医療機関内の診療外業務（事務作業など）が増えた	その他
30歳代	6	3	0	1	0	3	3
40歳代	106	69	7	49	18	69	25
50歳代	279	126	12	149	49	207	72
60歳代	128	17	1	72	17	93	36
70歳代	58	11	4	27	4	47	10
80歳以上	22	2	0	11	2	18	6
全体	599	228	24	309	90	437	152

比率

	外来患者数が増えた	入院患者数が増えた	インフォームド・コンセントに費やす時間が増えた	訪問診療が増えた	医療機関内の診療外業務（事務作業など）が増えた	その他
30歳代	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	50.0%
40歳代	65.1%	6.6%	46.2%	17.0%	65.1%	23.6%
50歳代	45.2%	4.3%	53.4%	17.6%	74.2%	25.8%
60歳代	13.3%	0.8%	56.3%	13.3%	72.7%	28.1%
70歳代	19.0%	6.9%	46.6%	6.9%	81.0%	17.2%
80歳以上	9.1%	0.0%	50.0%	9.1%	81.8%	27.3%
全体	38.1%	4.0%	51.6%	15.0%	73.0%	25.4%

「5年前と比較した勤務の負担」が増えている理由（複数回答）

(3) 診療科別（診療所を開設して5年以上を抽出）

回答数

	N数	外来患者数が 増えた	入院患者数が 増えた	インフォーム ド・コンセントに 費やす時間が 増えた	訪問診療が増 えた	医療機関内の 診療外業務 (事務作業な ど)が増えた	その他
内科	292	85	6	151	64	237	72
整形外科	55	17	0	28	2	43	15
皮膚科	32	18	0	20	8	12	3
小児科	37	12	1	12	0	19	18
産婦人科	24	11	10	16	0	15	7
泌尿器科	18	14	0	9	4	6	5
精神科	23	16	0	8	0	19	4
眼科	34	22	1	19	5	23	9
脳神経外科	8	2	1	4	0	6	1
外科	33	10	4	18	6	28	5
耳鼻咽喉科	23	9	0	15	0	14	6
その他	19	12	1	9	1	14	7
無回答	1	0	0	0	0	1	0
計	599	228	24	309	90	437	152

比率

	外来患者数が 増えた	入院患者数が 増えた	インフォーム ド・コンセントに 費やす時間が 増えた	訪問診療が増 えた	医療機関内の 診療外業務 (事務作業な ど)が増えた	その他
内科	29.1%	2.1%	51.7%	21.9%	81.2%	24.7%
整形外科	30.9%	0.0%	50.9%	3.6%	78.2%	27.3%
皮膚科	56.3%	0.0%	62.5%	25.0%	37.5%	9.4%
小児科	32.4%	2.7%	32.4%	0.0%	51.4%	48.6%
産婦人科	45.8%	41.7%	66.7%	0.0%	62.5%	29.2%
泌尿器科	77.8%	0.0%	50.0%	22.2%	33.3%	27.8%
精神科	69.6%	0.0%	34.8%	0.0%	82.6%	17.4%
眼科	64.7%	2.9%	55.9%	14.7%	67.6%	26.5%
脳神経外科	25.0%	12.5%	50.0%	0.0%	75.0%	12.5%
外科	30.3%	12.1%	54.5%	18.2%	84.8%	15.2%
耳鼻咽喉科	39.1%	0.0%	65.2%	0.0%	60.9%	26.1%
その他	63.2%	5.3%	47.4%	5.3%	73.7%	36.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
計	38.1%	4.0%	51.6%	15.0%	73.0%	25.4%

3 「5年前と比較した勤務の負担」が増えている回答のうち、「その他」を選択した場合の内容

キーワード	内容
診療内容	- 手術件数増 - 治験業務が増えた。 - 検査・治療内容が濃くなった。 - 医療過誤対策の患者への説明 - 診断、治療困難の患者が増えた。 - 重症患者さんが多数来院、入院するようになった。 - 療養病床から一般病床へ移行し、入院患者重症化 - 入院業務をいったん休止した後、再開したため。 - 透析は激増しているが、油断出来ない。 - 外来患者数は減少しているのに一人一人に時間がかかる。 - 高齢の患者が増えているため、大きな声でゆっくりと説明する必要があるため、負担が増えた感がある。 - 医療訴訟が多いため、医療訴訟対策のための説明や検査が増えた。説明や質問、会話の内容までもカルテ記載する必要がでてきた。分娩は100%安全なものと思われるため、精神的ストレスが大きい。
診療時間	- 開業当時と比較し、勤務の負担は増えています。 - 診療時間を19時までとシフトした。 - 時間外の診療、往診依頼が増えた。 - 1人医師医療法人・有床診療所にて、24h待機状態 - 時間外診療が増えているようです。 - 診療時間の増加、5年前にいた大学病院では、勤務時間は長くても純粋に診療に費やす時間は、今ほど長くなかった為。 - 地域医療は思ったよりきびしくつらい。24時間365日対応するのは勤務医の比ではない！このままだと地方の医者はいなくなると思う。正直勤務医の方がよかった。 - 国立大学教授として勤務後、本年開院。文部教官/医療人として学生講義・診療・手術・学内委員・研究・大学院生指導・学会活動と多忙ではあったが、リスクと重責(これまでと多少異なる)を抱えての業務。この半年間の多忙さはそれを凌駕するものであった。特に手術もおこなっている診療所の為、1日平均12時間、多い月は420時間以上診療所で仕事をしていた。 - 5年前は勤務医でした。上司や他部署とのストレスは強かった上、土日も論文作成に追われていましたので、過労でした。現在は開業し、管理者として自らの意志決定で運営できるため、精神的には楽ですが、拘束時間はふえています。
患者	- 産科分娩扱いの激減、自分がやめたら地域が困るとの一心で何とかやっている。 - 開放型病院への入院患者が増加し、診療時間中の連絡、昼休みの回診、夕方～夜の回診が増えてきている。 - 隣の院長が高齢で昨年入院。その患者の診療を頼まれ、疲労困憊に達している。 - 今から3年前に開業し、開業当初より外来患者が増えた。事務作業も増えた。5年前の勤務医の時は、仕事量が膨大で、加重労働であった。
人員削減	- 職員削減の為 - 医師が一人減った。 - 勤労従事者の減少 - 常勤医師の減少、3→2名のため一人あたりの仕事量がふえた。 - 保険診療による収入の低下により、パートの先生の回数がへり、診察時間が増加した。 - 医師が2人体制から1人体制になった。 - 看護師が減った。そのため現在休床中ですが、夜間の負担は減っているが外来患者数は増えて、看護師の増員が出来ないため、診療自体に時間がかかります。1人の看護師の負担が増えている。 - 看護師、事務職員、雑務員等の職員を減らしたので患者数は減ったが仕事の負担は増えた。 - 妻がしていた診療外業務を本人(院長)がしなければならない。 - 今から5年前は医師2人体制であったが、現在1人のため。 - 従業員削減により医師の負担増 - 処置・検査が増加。 - 産婦人科、小児科と同様に透析医(専門医)が少なく、安心してまかせられるパート医を見つけるのが困難である。 - 市内の産婦人科医院の病室閉鎖のため - 人件費削減の為 - スタッフ募集(欠員のため)の応募がない。
加齢	- 年齢的に往診がきつくなり、負担感増大しています。 - 加齢のため一つの仕事にかかる時間が長く必要になっている。 - 妻(事務長)も高齢で、体力的に限界が来ている。 - 高齢のため体力的負担増えている

キーワード	内容
他施設業務	- 他院での診療業務が増えた。(借入金返済のため) - 併設施設(介護老人保健施設)の業務を兼務しているため - 他病院にての共同診療 - 介護施設も増やしたため、日曜以外仕事に時間をとられている。 - 市の時間外診療所への出務時間増加。 - 他診療所(大学病院)での診療が増えた。 - 他の医療機関でパート勤務して自院の経営を補っている。 - 老人ホームの嘱託、役所関係 - 地域医療として、過疎地病院へ月1回勤務している。
書類作成	- 文書作成作業 - 書類、カンファレンス - 診療計画等が増えた。 - 書類が非常に繁雑になった。 - 患者さんに渡す書類がふえた。 - 紹介状、紹介状への返事、診療計画書等。 - 記載しなければならない書類が多すぎる - 事務的な書類の処理が増加して困っている。 - 書類の記入に要する労力が多すぎて、本来の診療に支障となっている。 - 診療録(カルテ)の記載に時間がかかる。 医師会の仕事が増加している。 - 書類書きに非常に時間をとられて本来の患者さんを診る時間が少なくなっているのではと思う。書類の多さに辟易している。 - 行政に提出する書類や患者に渡す書類などで煩雑になった - 役所・社会保険事務局などへの提出書類が面倒になった。感染防止委員会・安全対策委員会などをしなくてはならなくなった。 - 紹介状や検査書類の記入、介護認定のための意見書作成等、書類作成が増えた。これから書類作成は、すべて時間外で行わなければならない。 - 診療体制関係として、医療安全管理、院内感染予防、医薬品管理、医療機器、マニュアルの整備、入院診療計画、退院療養計画書、主治医意見書、サービス担当者会議への出席等、学校保険、産業医活動 - 電子カルテ導入による負担増 - 雑務が多い。 - 法改正による雑務が増えた。 - アンケート、調査が多い。 - 医療機関外の診療外業務が増えた。 - 外来患者が減り収入が減って(激減)いるにもかかわらず、書類書き、雑用が増えた。勤務時間は増加。 - 例えば、150円の手書きの領収書発行。折角書いて患者さんに渡す時、薬剤や軟膏の追加又は変更を申し出られ書き直しなど。 - 従業員を減らしてぎりぎりの人員でやっております所に、事務作業が増えて(領収書の明細等)夫婦共働きとなりました。 - 書類が多くなった。 レセプトへの添付書類及びコメントが多い。 生命保険の書類が多い。 - 生保の書類、介護、マル診の情報提供書 - 生命保険他に加入する患者さんが増加し、その保険の書類が増加(医師の証明が必要な為)
リハビリテーション	- リハビリテーションに関する書類が増大 - リハビリ関係の書類作成・チェック等の業務が増加す。 - 運動器リハビリテーション科に関連した文書作成、その他診療書等 - 運動器リハがはじまって、非常に書類が多くなって困惑している。外来患者数は減っているのに、仕事の量は逆にふえている。
職員研修	- スタッフへの教育・指導 - 安全教育、研修、安全管理等、新しい医療行政への対応等
経営	- 収入激減 1/3減 - 患者減、経費等増 - 忙しかったが収入は減った。 - 開業して休みや自由な時間が減った。借金などかかえているものは大きく、楽してもうけているわけではない。 - 外来患者数は激減しているが、職員は減らす訳に行かず(多忙時に備えるため)、経営検討、銀行との話し合い、生命保険見直し等、悩みが増大している。 - 諸経費は上昇し、看護師は大病院に吸収され、その分診療時間にも診察以外に時間を費やさなければならなくなって、診療報酬も(点数)減少している為、全体の収入減有り。このままではいつかつぶれる。時間外労働をしていたら病気になってしまふ。
自己研修	- 医療・医学の進歩に伴い新しい知見・医療技術等を勉強する時間が増えている。
開業	- 5年前は勤務医であったが、勤務医の方が楽だった。

キーワード	内容
学校医	- 学校検診 - 学校医活動、自己研修 - 学校健診の回数が増えた。 - 学校医としての活動や、医師会業務の増加。 - 学校医、健診、行政から依頼された業務の増加。 - 学校検診や看護学校での講義、学校保健委員としての会議出席等、診療以外の仕事もふえた。 - 学校医(2校 園医1)になり健診等あり。介護認定、障害程度区分認定(自立支援)、審査会出席 - 月に2回位、他の医療機関でアルバイトをしないと経営が成り立たないため、その事業外労働の負担が増えた。小学校校医・保育園園医の負担が増えた。 - (患者の希望で)迅速検査をすることが多くなり、説明含めると2倍時間が必要。小児科医の減少で園医などの出務が増えた。少子化で患者数は減少。 - 国民健康保険診療報酬審議委員会委員の業務が加わった。学校医としての担当学校数が増加し、学校保健委員会と学校健診、就学時検診の回数が増加した。 - 医師会の依頼により、福祉園の嘱託医を勤めることになった。
健診・検診	- 検診関係の仕事(直接X線撮影による検診のダブルチェック、内視鏡検診によるダブルチェック)兼医師会関係の検診業務 - 介護保険、医師会活動他(理事、支部長他)医療機関外の仕事が増えた。今まで行政で行っていた予防接種が個別になったり、検診事業も個別になり、その度の確認作業や手間がふえた。 - 健診の受診人数が増加し、その処理に時間を要す - 町より依頼の定期予防接種数の増加。保険診療件数の増加。学校医活動を開始した。警察医活動の増加(検死・不定期)。昼休憩を利用しての健康相談。他医療機関での当直等
産業医	- 産業医としての業務や精神鑑定 - 診療以外の例えば産業医の回数が増えた。 - 産業医の事業所が増えた関係で、木曜午後が多忙。 - 乳幼児検診や産業医やスポーツDr.としての出務が増えた。 - 10年くらい前に父が亡くなり院長になったが、校医1件・産業医5社・医師会関係の役など、年を経るごとに、院外の用事が増えてきた。また休日は、認定医・産業医認定の継続のため研修を受けなければならないので、自分の時間がほとんどない。(都会と違い遠方への研修に行かなければならないのも負担)。都会とちがい救急指定病院が少ないので時間外も多い。(特に冬) 警察活動協力医も引き受けているので時々検死も行う。特別老人ホーム理事 - 産業医としての業務(会社検診)、介護保険業務(意見書、指示書、ケアマネージャーとの打合せ)、医師会役員業務、地域内病院医務会議、講演会、学会等出席などの研修、以上全て増加。
夜間・休日診療	- 日曜午前中、診療をはじめたため - 平日夜間診療事業の負担増 - 休日・平日夜間診療所への出務 - 夜間透析を開始したため - 時間外及び夜間診療所業務が増えた。 - 土曜、日曜、祝日夜間当番医が始まった。 - 休日診療所への出向回数、出務時間の増加。 - 患者が半分位に減少したが、休日診療等増加している。 - 地域での夜間診療や休日診療を手伝うようになった。講習会への参加が多くなった。(専門医のため) - 夜間急病センター1回/月、医師会立病院当直7回/月 - 労務管理、当直 - 医師会医療センターの準夜帯当直の輪番制による勤務に参加している - 夜間小児科診療所、休日小児科診療所の回数が増加しました。 - 休日診療の当番日が増えた。校医としての仕事が増えた。安全管理委員会が義務化された。各種勉強会、症例検討会への参加が増えた。 - 医療センター医師会病院の平日夜間診療、及び祭日診療(救急対応) - 救急件数の増加
介護保険	- 介護保険の意見書。 - 介護申告書作成、生保申告書作成 - 介護保険関係の書類が非常に多い。 - 介護関係の書類作成、往診・保険関係の書類作成。 - 診断書・意見書等のペーパーワークが急増しています。 - 主治医意見書の記入が増加し、夜の時間外労働が増えた。 - 介護関係の診断書、意見書 診療情報提供書 - 介護保険制度に伴うカンファレンス、書類記入ややりとり等の時間が増大。 - 主治医意見書、医師意見書、看護指示書etc.の書類作成が増加しています。 - 介護保険に関連する書類作成が増えた。産業医の仕事量が増えた。 - 介護審査、学校医、包括支援センター、産業医、医療保護(生活保護)の審査など雑用多数。 - 医療要否意見書、介護保険主治医意見書、及び診療情報提供書等の記載書類が増えた。 - グループホームを開設したために、介護業務が増えた。意見書、レセプト、診断書等はいつの時間でも合間をみて書く。 - 介護保険関係:主治医意見書作成、介護プランへの参加等 - 介護保険関係の業務の増加。医師会活動の増加。

キーワード	内容
介護保険	- 介護保険関係の書類、会議の対応が増えている。 - 介護保険事業が増えた - 介護保険関連サービス(デイケア、デイサービス、ショートステイ、グループホーム)の業務が増えた為。(介護関連文書・業務を含む) - 介護保険Care conference、認定審査委員会等で行事が増えた。 - 介護認定審査会、学校医、医師会、学術講演出席など、当院における医療業務以外の活動が増加している。その他、市町村主体の生活習慣病予防のための講演などの依頼も受けている。当院は僻地に位置するため、種々の会合出席のため往復2時間を要してしまう。 - 介護認定審査委員、精神科救急待機相談員、診療所協会の役員業務 - 有床をやめたが、介護保険の審査員などのため診療時間には変化がない。
行政・医師会等	- 医師会会務 - 医師会活動など - 医政(医会)業務 - 医師会関係の仕事 - 医師会業務の増加 - 医師会業務、眼科医会業務 - 医師会等の公的仕事が増えた。 - 地域医師会における活動が増えた。 - 医師会、研究会、書類診査などが増えた。 - 医会関連の仕事が増えている。審査など。 - 医師会活動、学校医活動、学校医・園医活動 - 医師会での会議・業務、行政主催の会議・委員会など。 - 医師会の理事になった為、その事務作業等が増えた。 - 医師会理事としての業務の増加、市からの委託事業の参画。 - 地域医師会役員業務の増加、院外での地域医療業務の増加。 - 医師会関連業務が増えた(理事、行政への協力、看護学校の講師等) - 医師会の出務(市・県・眼科医会等)が増えた。学校医の出務が増えた。 - 市医師会長としての業務、居住市からの委託業務(保険、福祉、介護、教育等々) - 医師会同門会等の会合勉強会・製薬会社主催の勉強会等の出席。一件の往診に最低30分は要する。 - 医師会関係の会議(代議員会など)、乳幼児健診、公的機関の会議(学校給食運営委員会、食育推進委員会、結核対策委員会)などの出が増えてきた。 - 医師会活動等公的仕事の増加。会議出席・出張などで医院を空ける事が多くなった。(そのあなうめは代診医) 保険(国保)審査業務も加わった。市立夜間急病センターへの出向回数がひどく増加してきた。 - 郡医師会病院の当直・夜間救急外来に月3~4回、郡医師会理事 理事会月1回 県医師会代議員など、介護保険委員 審議会月1回・会議月1回、学校医:小学校3・保育園4・中学校1、学校保健会役員:年数回 - 公的な色彩の強い業務として、以下の2つが(土)(日)と火・木・土の夕方という本来自分の時間が仕事にとられ 保険診査(社保)委員を委託されており、月約20時間の業務を(土)(日)にこなしている。各種学会、研究会の理事及び医師会の役員を6つ引き受けていて、夕方の会議が多い。通常の診療業務のみで週約60時間である。 - 県・学会関係の業務 - 勤務ではないが会議が増えた。 - 行政・医師会関係の仕事が増えた。 - 地域での講演や介護審査など、自治体の仕事が増えた。 - 医師会理事や小児科医会理事などの役員業務が増えている。診療自体は変わらず。 - 精神神経科診療所協会役員、保団連・保険医会役員、医師会役員、自立支援判定審査会、などで多忙 - 医師会、乳児院等、夜間急病センター等の役割負担が増加。大学医学生教育、学会活動を再開せざるをえなくなった。 - {医師会の会議、小児科医会(市・道・日本)の会議、電話相談、救急当番など}院外の仕事が増えた - ・医師会活動の対外的な業務の拡大、質量ともに。・患者個々の直接診察とは関係のない対応の増加(苦情・相談など) - 社会保険診療報酬支払基金、審査委員としての業務、医師会活動(代議員会副議長他)に費やす時間の増加。 - 医療行政に関わることが多い。自立支援、介護保険の委員、こころの健康相談、各種講演など。他に集団指導、個別指導など。医師会の例会等の活動もあり、勤務医の頃よりはるかに忙しい。昼食もとれない状況で激務である。 - 医療全般に亘る規制づくめの鉄鎖で、がんじがらめの地獄の生活。憲法25条自由平等の権利が無視されている気がする。何としても国民の権利たる心安まる心暖まる自由がほしい。封建政治の台頭か? - 地域への貢献としての依頼による講演会の増加 - 地域活動が増えた。

. 1週間の診療時間・診療時間外の活動

1 有床無床別

(時間 / 週)

	N数	診療時間	診療時間外									計
		診療業務	診療所管理業務	自己研修	地域医療活動						その他	
					学校医・産業医等	救急対応	介護保険関係	行政・医師会等	地域行事	小計		
有床	365	45.9	4.3	4.6	0.3	3.7	0.4	1.5	0.3	6.2	0.5	61.5
無床	1,096	41.5	4.5	3.9	0.5	1.2	0.4	1.0	0.1	3.1	0.3	53.3
全体	1,461	42.6	4.4	4.1	0.4	1.8	0.4	1.1	0.2	3.8	0.3	55.3

2 診療科別

(時間 / 週)

	N数	診療時間	診療時間外									計
		診療業務	診療所管理業務	自己研修	地域医療活動						その他	
					学校医・産業医等	救急対応	介護保険関係	行政・医師会等	地域行事	小計		
内科	712	42.2	4.6	4.1	0.5	1.6	0.6	1.1	0.1	4.0	0.3	55.1
整形外科	119	43.9	4.8	3.6	0.2	1.6	0.4	1.4	0.1	3.8	0.4	56.4
皮膚科	70	41.5	3.6	3.0	0.2	0.5	0.1	1.0	0.1	1.9	0.3	50.2
小児科	107	41.4	3.2	3.8	0.9	2.3	0.1	1.1	0.2	4.5	0.5	53.3
産婦人科	61	45.7	2.9	3.4	0.1	8.9	0.0	0.8	0.2	10.1	0.3	62.3
泌尿器科	36	45.9	4.4	4.9	0.1	1.5	0.2	1.0	0.2	2.9	0.1	58.3
精神科	36	41.2	7.2	4.0	0.3	1.1	0.3	0.4	0.1	2.2	0.1	54.8
眼科	98	41.8	5.1	4.7	0.2	0.2	0.0	1.1	0.0	1.6	0.2	53.5
脳神経外科	13	47.1	7.5	3.7	0.2	2.4	0.5	0.3	0.2	3.5	0.0	61.7
外科	87	45.1	3.3	5.2	0.5	2.3	0.3	1.3	0.5	4.8	0.3	58.8
耳鼻咽喉科	84	40.7	4.2	4.1	0.2	0.6	0.1	1.1	0.1	2.1	0.4	51.4
その他	36	43.3	5.8	5.0	0.2	0.8	0.2	1.0	0.3	2.5	1.9	58.4
無回答	2	40.3	6.8	0.0	0.0	0.0	5.8	2.0	0.0	7.8	2.5	57.3
全体	1,461	42.6	4.4	4.1	0.4	1.8	0.4	1.1	0.2	3.8	0.3	55.3

1週間の診療時間・診療時間外の活動

3 年齢別・性別

(時間 / 週)

	N数	診療 時間	診療時間外									計
		診療業務	診療所管 理業務	自己研修	地域医療活動						その他	
					学校医・ 産業医等	救急対応	介護保険 関係	行政・医 師会等	地域行事	小計		
30歳代	32	43.9	3.4	3.1	0.4	2.6	0.3	0.4	0.0	3.7	0.1	54.2
男	24	45.3	3.4	3.1	0.2	1.7	0.1	0.5	0.0	2.5	0.0	54.2
女	8	40.0	3.6	3.0	1.0	5.1	0.9	0.3	0.0	7.3	0.3	54.2
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	259	45.8	5.4	4.2	0.3	2.2	0.4	0.8	0.2	3.9	0.3	59.6
男	226	46.2	5.2	4.2	0.3	2.2	0.3	0.7	0.3	3.8	0.3	59.7
女	33	42.7	6.5	4.8	0.0	2.5	0.4	1.5	0.2	4.6	0.1	58.6
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50歳代	517	44.3	5.0	4.2	0.5	2.2	0.4	1.2	0.1	4.3	0.4	58.2
男	481	44.6	4.7	4.1	0.4	2.3	0.4	1.2	0.1	4.4	0.4	58.3
女	35	40.0	8.4	4.8	0.7	1.1	0.4	0.4	0.3	2.9	0.3	56.4
無回答	1	49.5	10.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.0
60歳代	328	41.2	4.0	4.2	0.4	1.5	0.5	1.7	0.2	4.3	0.4	54.1
男	297	41.5	3.9	4.2	0.4	1.6	0.5	1.7	0.2	4.4	0.4	54.4
女	28	39.0	5.1	4.1	0.4	0.4	0.4	1.5	0.0	2.7	0.3	51.2
無回答	3	37.7	3.3	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	47.8
70歳代	219	39.4	3.4	4.1	0.5	1.1	0.3	0.8	0.2	3.0	0.1	50.0
男	216	39.5	3.3	4.0	0.5	1.1	0.3	0.8	0.3	3.0	0.1	49.9
女	3	36.3	9.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.3
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	103	36.2	3.5	3.4	0.3	0.4	0.2	0.4	0.1	1.3	0.3	44.7
男	96	36.8	3.6	3.4	0.3	0.4	0.2	0.4	0.2	1.4	0.3	45.4
女	7	27.6	2.9	4.0	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0	35.0
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	3	47.0	1.3	2.2	0.0	21.5	0.0	0.0	0.0	21.5	0.0	72.0
男	3	47.0	1.3	2.2	0.0	21.5	0.0	0.0	0.0	21.5	0.0	72.0
女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	1,461	42.6	4.4	4.1	0.4	1.8	0.4	1.1	0.2	3.8	0.3	55.3
男	1,343	42.8	4.3	4.0	0.4	1.8	0.4	1.1	0.2	3.9	0.3	55.4
女	114	39.7	6.4	4.7	0.4	1.5	0.4	1.0	0.1	3.4	0.2	54.4
無回答	3	47.0	1.3	2.2	0.0	21.5	0.0	0.0	0.0	21.5	0.0	72.0

4 曜日別

(1) 総時間数

(時間 / 週)

	診療時間	診療時間外									計
	診療業務	診療所管理業務	自己研修	地域医療活動						その他	
				学校医・産業医等	救急対応	介護保険関係	行政・医師会等	地域行事	小計		
月	11,898.8	1,019.9	579.5	57.5	265.0	70.2	138.8	14.0	545.5	50.5	14,094.1
火	11,539.8	1,498.1	549.3	54.3	268.3	66.5	134.5	27.0	550.5	46.0	14,183.6
水	10,582.5	826.9	886.2	118.8	268.4	114.5	224.3	50.0	776.0	67.7	13,139.3
木	9,002.0	889.3	855.6	185.9	282.4	96.0	392.2	43.5	1,000.0	65.2	11,812.0
金	11,665.7	724.2	928.2	65.5	272.3	61.3	251.5	23.0	673.6	67.5	14,059.2
土	7,119.0	827.5	1,072.5	68.2	353.9	49.0	265.0	42.5	778.6	88.0	9,885.6
日	383.2	694.8	1,123.0	47.5	906.2	82.5	191.0	44.5	1,271.7	102.0	3,574.7
計	62,191.0	6,480.6	5,994.2	597.6	2,616.4	540.0	1,597.3	244.5	5,595.8	486.9	80,748.4

(2) 一人当たり平均時間数

(時間 / 週)

	診療時間	診療時間外									計
	診療業務	診療所管理業務	自己研修	地域医療活動						その他	
				学校医・産業医等	救急対応	介護保険関係	行政・医師会等	地域行事	小計		
月	8.1	0.7	0.4	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	9.6
火	7.9	1.0	0.4	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	9.7
水	7.2	0.6	0.6	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0	0.5	0.0	9.0
木	6.2	0.6	0.6	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	0.7	0.0	8.1
金	8.0	0.5	0.6	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.5	0.0	9.6
土	4.9	0.6	0.7	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.5	0.1	6.8
日	0.3	0.5	0.8	0.0	0.6	0.1	0.1	0.0	0.9	0.1	2.4
計	42.6	4.4	4.1	0.4	1.8	0.4	1.1	0.2	3.8	0.3	55.3

5 診療業務(救急対応を含む)を行っている時間帯

(1) 回答数(N=1,060)

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	平日平均	土曜	日曜
6時台	25	20	20	17	20	20.4	22	18
7時台	96	94	93	84	87	90.8	91	20
8時台	659	655	656	202	636	561.6	613	51
9時台	1,027	1,018	998	960	1,023	1,005.2	949	114
10時台	1,041	1,028	1,012	969	1,043	1,018.6	992	117
11時台	1,039	1,025	1,013	969	1,043	1,017.8	995	98
12時台	766	744	733	698	772	742.6	739	64
13時台	379	385	357	317	409	369.4	298	46
14時台	898	880	750	583	848	791.8	322	60
15時台	994	973	824	615	957	872.6	301	67
16時台	1,010	984	833	611	995	886.6	239	75
17時台	938	902	765	541	908	810.8	179	51
18時台	466	418	337	262	455	387.6	93	38
19時台	133	104	102	93	150	116.4	56	44
20時台	64	55	63	46	74	60.4	36	35
21時台	46	37	49	34	52	43.6	30	32
22時台	27	28	26	23	31	27.0	21	17
23時台	16	13	16	17	18	16.0	15	11
0時台	10	16	9	14	12	12.2	14	12
1時台	12	11	10	14	11	11.6	14	11
2時台	12	12	9	13	9	11.0	14	12
3時台	7	13	9	11	12	10.4	11	12
4時台	7	11	8	12	11	9.8	13	12
5時台	10	10	11	14	11	11.2	15	12

(2) 比率

	平日平均	土曜	日曜
6時台	1.9%	2.1%	1.7%
7時台	8.6%	8.6%	1.9%
8時台	53.0%	57.8%	4.8%
9時台	94.8%	89.5%	10.8%
10時台	96.1%	93.6%	11.0%
11時台	96.0%	93.9%	9.2%
12時台	70.1%	69.7%	6.0%
13時台	34.8%	28.1%	4.3%
14時台	74.7%	30.4%	5.7%
15時台	82.3%	28.4%	6.3%
16時台	83.6%	22.5%	7.1%
17時台	76.5%	16.9%	4.8%
18時台	36.6%	8.8%	3.6%
19時台	11.0%	5.3%	4.2%
20時台	5.7%	3.4%	3.3%
21時台	4.1%	2.8%	3.0%
22時台	2.5%	2.0%	1.6%
23時台	1.5%	1.4%	1.0%
0時台	1.2%	1.3%	1.1%
1時台	1.1%	1.3%	1.0%
2時台	1.0%	1.3%	1.1%
3時台	1.0%	1.0%	1.1%
4時台	0.9%	1.2%	1.1%
5時台	1.1%	1.4%	1.1%

. 1週間に一度でも診療時間外活動を行った診療所医師(管理者)

1 年齢別

回答数

	N数	診療所管理業務		自己研修		学校医・産業医等		救急対応		介護保険関係		行政・医師会等		地域行事	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
30歳代	32	20	12	21	11	5	27	14	18	4	28	6	26	0	32
40歳代	259	198	61	174	85	36	223	79	180	37	222	67	192	15	244
50歳代	517	361	156	353	164	89	428	158	359	83	434	140	377	18	499
60歳代	328	204	124	219	109	51	277	73	255	57	271	97	231	16	312
70歳代	219	117	102	130	89	40	179	39	180	24	195	40	179	13	206
80歳以上	103	51	52	60	43	12	91	11	92	8	95	12	91	4	99
無回答	3	1	2	1	2	0	3	2	1	0	3	0	3	0	3
全体	1,461	952	509	958	503	233	1,228	376	1,085	213	1,248	362	1,099	66	1,395

比率

	診療所管理業務		自己研修		学校医・産業医等		救急対応		介護保険関係		行政・医師会等		地域行事	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
30歳代	62.5%	37.5%	65.6%	34.4%	15.6%	84.4%	43.8%	56.3%	12.5%	87.5%	18.8%	81.3%	0.0%	100.0%
40歳代	76.4%	23.6%	67.2%	32.8%	13.9%	86.1%	30.5%	69.5%	14.3%	85.7%	25.9%	74.1%	5.8%	94.2%
50歳代	69.8%	30.2%	68.3%	31.7%	17.2%	82.8%	30.6%	69.4%	16.1%	83.9%	27.1%	72.9%	3.5%	96.5%
60歳代	62.2%	37.8%	66.8%	33.2%	15.5%	84.5%	22.3%	77.7%	17.4%	82.6%	29.6%	70.4%	4.9%	95.1%
70歳代	53.4%	46.6%	59.4%	40.6%	18.3%	81.7%	17.8%	82.2%	11.0%	89.0%	18.3%	81.7%	5.9%	94.1%
80歳以上	49.5%	50.5%	58.3%	41.7%	11.7%	88.3%	10.7%	89.3%	7.8%	92.2%	11.7%	88.3%	3.9%	96.1%
無回答	33.3%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
全体	65.2%	34.8%	65.6%	34.4%	15.9%	84.1%	25.7%	74.3%	14.6%	85.4%	24.8%	75.2%	4.5%	95.5%

1週間に一度でも診療時間外活動を行った診療所医師(管理者)

2 診療科別

回答数

	N数	診療所管理業務		自己研修		学校医・産業医等		救急対応		介護保険関係		行政・医師会等		地域行事	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
内科	712	463	249	481	231	147	565	177	535	147	565	175	537	30	682
整形外科	119	78	41	73	46	7	112	30	89	28	91	32	87	5	114
皮膚科	70	43	27	39	31	3	67	7	63	1	69	9	61	2	68
小児科	107	67	40	74	33	33	74	44	63	4	103	32	75	6	101
産婦人科	61	34	27	32	29	3	58	33	28	1	60	17	44	3	58
泌尿器科	36	23	13	28	8	1	35	9	27	3	33	6	30	4	32
精神科	36	29	7	20	16	4	32	7	29	6	30	7	29	1	35
眼科	98	73	25	72	26	8	90	10	88	2	96	30	68	1	97
脳神経外科	13	10	3	7	6	2	11	6	7	4	9	2	11	1	12
外科	87	51	36	58	29	17	70	33	54	9	78	21	66	9	78
脳神経外科	84	56	28	53	31	6	78	13	71	2	82	22	62	2	82
その他	36	24	12	21	15	2	34	7	29	4	32	8	28	2	34
無回答	2	1	1	0	2	0	2	0	2	2	0	1	1	0	2
全体	1,461	952	509	958	503	233	1,228	376	1,085	213	1,248	362	1,099	66	1,395

比率

	診療所管理業務		自己研修		学校医・産業医等		救急対応		介護保険関係		行政・医師会等		地域行事	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
内科	65.0%	35.0%	67.6%	32.4%	20.6%	79.4%	24.9%	75.1%	20.6%	79.4%	24.6%	75.4%	4.2%	95.8%
整形外科	65.5%	34.5%	61.3%	38.7%	5.9%	94.1%	25.2%	74.8%	23.5%	76.5%	26.9%	73.1%	4.2%	95.8%
皮膚科	61.4%	38.6%	55.7%	44.3%	4.3%	95.7%	10.0%	90.0%	1.4%	98.6%	12.9%	87.1%	2.9%	97.1%
小児科	62.6%	37.4%	69.2%	30.8%	30.8%	69.2%	41.1%	58.9%	3.7%	96.3%	29.9%	70.1%	5.6%	94.4%
産婦人科	55.7%	44.3%	52.5%	47.5%	4.9%	95.1%	54.1%	45.9%	1.6%	98.4%	27.9%	72.1%	4.9%	95.1%
泌尿器科	63.9%	36.1%	77.8%	22.2%	2.8%	97.2%	25.0%	75.0%	8.3%	91.7%	16.7%	83.3%	11.1%	88.9%
精神科	80.6%	19.4%	55.6%	44.4%	11.1%	88.9%	19.4%	80.6%	16.7%	83.3%	19.4%	80.6%	2.8%	97.2%
眼科	74.5%	25.5%	73.5%	26.5%	8.2%	91.8%	10.2%	89.8%	2.0%	98.0%	30.6%	69.4%	1.0%	99.0%
脳神経外科	76.9%	23.1%	53.8%	46.2%	15.4%	84.6%	46.2%	53.8%	30.8%	69.2%	15.4%	84.6%	7.7%	92.3%
外科	58.6%	41.4%	66.7%	33.3%	19.5%	80.5%	37.9%	62.1%	10.3%	89.7%	24.1%	75.9%	10.3%	89.7%
耳鼻咽喉科	66.7%	33.3%	63.1%	36.9%	7.1%	92.9%	15.5%	84.5%	2.4%	97.6%	26.2%	73.8%	2.4%	97.6%
その他	66.7%	33.3%	58.3%	41.7%	5.6%	94.4%	19.4%	80.6%	11.1%	88.9%	22.2%	77.8%	5.6%	94.4%
無回答	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
全体	65.2%	34.8%	65.6%	34.4%	15.9%	84.1%	25.7%	74.3%	14.6%	85.4%	24.8%	75.2%	4.5%	95.5%

・活動内容として記入された内容(例)

区分	活動内容
診療所管理業務	- AED研修 - MRの保守・点検 - MRによる職員看護師への勉強会 - 職員勉強会 - MR職員との懇談 - MR等への対応 - ORCA導入準備、ORCA操作指導 - PCメンテナンス - 経営実績の検討、作成 - カルテ機種チェック（カタログ・インターネット） - カルテ作成・チェック - カルテ整理や紹介状等の記載 - クリニック移転打合せ - ジェネリック薬品選別 - スタッフと個別話し合い - スタッフへの教育・指導 - ホームページ更新 - メールチェック - リハ室職員・CR装置物療機器分解メンテナンス立ち合い - レセコン機種選定（業者打合わせ） - レセプト実績委員会 - レセプト準備、処理、整理、点検 - レントゲン液入れ替え - レントゲン点検（業者と） - 安全対策委員会 - 医院保健関係 - 医薬保護書類作成 - 医療安全対策会議 - 医療収支点検（ボーナス対応他） - 医療費書類 - 医療用具購入計画作成、調査 - 院外処方箋発行の為に準備日（在庫移動） - 院内カンファレンス - 院内委員会、管理書類作成 - 院内会議（経営実績など） - 院内会議及介護スタッフとのミーティング - 院内感染対策委員会 - 院内看護師研修会 - 院内研究会、研修会 - 院内清掃（管理） - 院内報作成 - 会計事務所と打合せ - 会計事務所と労働保険加入の打ち合わせ - 会計帳簿 - 学術講演会担当理事としてMRとの打合わせ - 管理業務関連書類等チェック - 労働局監査 - 保健所監査 - 感染対策マニュアル作成 - 技士業務内容検討 - 給与計算 - 給与支払い、振込み、釣銭準備 - 業者対応、設備補修 - 決算のため棚卸しなど - 決算報告書 - 月末事務 - 健康診査等書類及びレントゲン写真点検 - 健診結果作成・点検・整理 - 健保書類業務 - 顧問税理士との話し合い - 厚生労働省ホームページチェック - 施設修繕 - 施設内の管理者会議 - 事務品買物 - 治験の経過検討 - 治験資料作成 - 治験打合せ - 自賠責書類、情報提供書など - 書類・契約書の作成・整理 - 書類のソフト作成 - 生活保護他書類 - 生保書類作成 - 消防の点検立会い・レセプト点検 - 診断書・紹介状・返事の作成 - 看護指示書作成 - 職員・看護師への教育・指導 - 職員と懇親会、勉強会 - 職員管理会議 - 職員教育・マニュアル作成 - 職員全体会議 - 職員退職、募集手続等 - 従業員面接 - 新規内視鏡セッティング説明会 - 診療情報作成 - 経理チェック - 請求書、支払予定 - 請求書整理 - 税理士とチェックするための書類の確認 - 税理士との（決算）経理 - 接遇指導（院内） - 他院へ見学、移転先内装工事打合せ - 栄養士と相談 - 電子カルテメーカー説明 - 電子カルテメンテナンス - 電子カルテ管理、操作 - 電子媒体レセプト請求の準備 - 電話予約システム導入準備 - 当院医療安全管理指針 - 当院受付面接 - 糖尿病教室（院内）の為に書類作成 - 届出書類チェック - 日報作成・整理 - 入院証明書作成 - 年金診断書他書類書き - 保険請求のためカルテの選り出し - 薬在庫管理 - 銀行との打合せ、折衝
自己研修	- 医学講演会、研修 - 医学誌、医学書に目を通す - 講義の準備 - 医業経営研究会 - 医師会での勉強会（フィルム読影会） - 医療（医療制度）改革に関する勉強会 - インターネットで医療情報検索 - 医療安全推進者養成講座 - 医療新聞社の取材を受ける - 症例検討会発表準備、症例検討会 - 患者向け講演会資料作成 - 依頼原稿書き - 執筆準備 - エコー読診会 - ケアネットTV - 医学DVD（ビデオ） - レポート作成 - 手術ビデオ編集 - テレフォンカンファレンス - 医学関係メールチェック - 学会認定医面接試験

区分	活動内容
学校医・産業医等	- 1才半健診 - 3才児健診 - エコー読診会 - ヘルスアップ事業 - 安全衛生委員会 - 意見書作成 - 肺がん検診読影会 - 胃がん検診読影会 - 園医活動 - 競艇場医務室出勤 - 刑務所往診 - 警察医活動 - 健診結果コメント - 死体検案、検案書作成 - 検診の資料のまとめ、通知ハガキ作成等 - 個別基本健康診査の書類判定 - 産業医(健康相談等) - 産業医(長時間労働の面接調査) - 産業医職場巡視 - 児童相談所診療 - 就学指導委員会 - 巡回就学相談業務 - 職場健診 - 心の健康づくりの説明会 - 新生児検診 - 学校医安全委員会 - 学校保健委員会 - 学校医書類作成 - 学校医電話連絡 - テニス協会医科学委員会 - 乳がん検診 - 乳児健診 - 乳房撮影読影(集検) - 妊娠婦検診 - 地区健診・診断結果検討整理 - 福祉園囑託医 - 保育園への乳児検診
救急対応関係	- 時間外往診、診療 - 小児科救急センター出張 - 休日・夜間診療 - 休日・夜間診療所へ出務 - 小児夜間救急当番医 - オンコール対応(医師会) - 救急情報センター待機医 - 休日当番医・小児夜間診療当番医 - 医師会病院夜間急病センター当番 - 急患外来 - 緊急検査、手術 - 他医療機関での日直・当直 - グループホーム救急診療 - 心臓病外来・病棟(重症患者死亡見送りまで) - 新生児診療等 - 在宅電話相談 - 電話指示(かかりつけ医として) - 末期癌患者処置 - 夜間透析 - 夜間往診 - 救急患者搬送 - 救急センター受診者カルテの調査統計業務
介護保険関係	- ケアカンファレンス、障害者認定審査会 - ケアマネとしての書類整理 - 通所介護 - デイサービス管理者会議 - リスクマネジメント講演準備 - 介護施設への訪問 - 介護保険関係紹介状 - 介護保険審査会資料の事前点検、作成 - 介護保険認定審査会 - 地域包括支援センター会議 - クリニックデイサービスの筋トレ - 主治医意見書作成
行政・医師会等	- インフルエンザワクチン安定供給連絡会議 - スポーツ医、区役所会議 - 医会会議 - 医師会アンケートの回答作成 - 医師会の役員会および懇談会 - 医師会内定期情報交換会 - 医師会監査 - 地域自立支援協議会 - 住民保健委員会 - 小児初期救急委員会 - 障害者認定審査会議 - 社会保険診療報酬診査委員会 - 社会保険事務所出向レセプト審査 - 医会業務 - 県庁会議 - 自立支援会議 - 地域産業保健センター協議会 - 行政訪問委員会会議(学校給食センター) - 講義、在宅ケア研究会 - 国保常任診査(保険者再審査) - 国保審査会 - 三師会会議 - 市長・副市長と面会 - 支払基金業務 - 治験審査委員会
地域行事	- ライオンズクラブ活動 - ロータリークラブ会合 - 心の健康相談 - 私的カルチャー講師 - 地域行事の講演原稿作成 - 子育てのつどい相談コーナー担当 - 市主催行事の打ち合わせ - 他区での障害児保育の巡回相談 - 地域行事(救急班) - 地域行事への講師 - 地域商店街夏祭り救護班 - 地域奉仕活動 - 中学校教職員向け性教育講演
その他	- スポーツ医学関係 - ホームページ上にて患者への質問の返答など - 医師会移動 - 学会出席のため、移動滞在 - 支払い業務(電話入力) - 医療業務協力業者接待 - 院内清掃 - 献血業務 - 県会議員と情報交換(医療問題) - 工事打ち合わせ - 裁判所から依頼で患者さんのカルテ説明 - 死亡患者の葬儀 - 専門学校での講義 - 他院入院患者見舞い - 知的障害施設へのボランティア診療 - 地域医療関係者との会合 - 地区ロータリー会議(環境保全委員長) - 乳癌患者会への参加 - 病診連携の会 - 養護学校発達支援相談会、専門家チームとして出席 - 小規模多機能ホーム見学会と職員との談話会 - 情報交換会(地区支部会)

診療所基本情報

調査票 1

平成19年7月現在の状態をご記入ください。

I 医療機関	1. 医療機関名: 2. 都道府県名: 3. TEL: - - 4. FAX: - - 5. 担当者氏名: 都道府県名は医療機関の所在県名をご記入ください。 記載情報に不明な点等があった場合、ご連絡することがあります。
II 管理者(院長)	1. 年齢 (歳) 2. 開業時の年齢 (歳) 3. 性別 ☐ a. 男 ☐ b. 女
III 設置主体	☐ 1. 個人 ☐ 2. 法人
IV 有床・無床区分	☐ 1. 有床(床) ☐ 2. 無床
V 医業用建物の保有形態	☐ 1. 自己所有 ☐ 2. 賃借 ☐ 3. その他 ()
VI 医業用建物の延床面積	()m ²
VII 院内・院外処方	☐ 1. 主として院内処方 ☐ 2. 主として院外処方
VIII 診療科目 主たるものを一つだけ選んでください。	☐ 1. 内科 ☐ 2. 整形外科 ☐ 3. 皮膚科 ☐ 4. 小児科 ☐ 5. 産婦人科 ☐ 6. 泌尿器科 ☐ 7. 精神科 ☐ 8. 眼科 ☐ 9. 脳神経外科 ☐ 10. 外科 ☐ 11. 耳鼻咽喉科 ☐ 12. その他() 保険診療報酬の一番大きい診療科と考えてください。
IX 青色申告の有無 平成18年分確定申告について	☐ 1. 有 ☐ 2. 無 設置主体が個人の場合のみご記入ください。
X 家族構成(同居の家族)	☐ 1. 本人のみ(独身) ☐ 2. 夫婦二人 ☐ 3. 夫婦と子ども ☐ 4. 夫婦と子どもと夫婦の親(3世帯) ☐ 5. 夫婦と夫婦の親 ☐ 6. その他 ()
XI 本人、配偶者の就労状況	☐ 1. 本人のみ ☐ 2. 夫婦共働きで、配偶者はフルタイム勤務 ☐ 3. 夫婦共働きで、配偶者はパートタイム勤務 ☐ 4. その他 ()
XII 5年前と比較した勤務の負担	☐ 1. 増えている ☐ 2. 減っている ☐ 3. 変わらない ☐ 4. わからない ↓ その負担内容 (「1.増えている」に回答の場合のみ。複数回答可) ☐ a. 外来患者数が増えた ☐ b. 入院患者数が増えた ☐ c. インフォームドコンセントに費やす時間が増えた ☐ d. 訪問診療が増えた ☐ e. 医療機関内の診療外業務(事務作業など)が増えた ☐ f. その他 ()

診療時間・診療時間外活動に関する調査

調査票 2

[診療時間、診療時間外の活動時間]

日付	診療時間、診療時間外の活動内容	
7月25日	☐ 休診 届出の診療時間 : ~ : : ~ :	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0 1 2 3 4 5 時 合計 : : 時間 A : : 時間 B : : 時間 C : : 時間 D : : 時間 E : : 時間 F : : 時間 G : : 時間 H : : 時間 I : : 時間
7月26日	☐ 休診 届出の診療時間 : ~ : : ~ :	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0 1 2 3 4 5 時 合計 : : 時間 A : : 時間 B : : 時間 C : : 時間 D : : 時間 E : : 時間 F : : 時間 G : : 時間 H : : 時間 I : : 時間
7月27日	☐ 休診 届出の診療時間 : ~ : : ~ :	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0 1 2 3 4 5 時 合計 : : 時間 A : : 時間 B : : 時間 C : : 時間 D : : 時間 E : : 時間 F : : 時間 G : : 時間 H : : 時間 I : : 時間
7月28日	☐ 休診 届出の診療時間 : ~ : : ~ :	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0 1 2 3 4 5 時 合計 : : 時間 A : : 時間 B : : 時間 C : : 時間 D : : 時間 E : : 時間 F : : 時間 G : : 時間 H : : 時間 I : : 時間
7月29日	☐ 休診 届出の診療時間 : ~ : : ~ :	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0 1 2 3 4 5 時 合計 : : 時間 A : : 時間 B : : 時間 C : : 時間 D : : 時間 E : : 時間 F : : 時間 G : : 時間 H : : 時間 I : : 時間
7月30日	☐ 休診 届出の診療時間 : ~ : : ~ :	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0 1 2 3 4 5 時 合計 : : 時間 A : : 時間 B : : 時間 C : : 時間 D : : 時間 E : : 時間 F : : 時間 G : : 時間 H : : 時間 I : : 時間
7月31日	☐ 休診 届出の診療時間 : ~ : : ~ :	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 0 1 2 3 4 5 時 合計 : : 時間 A : : 時間 B : : 時間 C : : 時間 D : : 時間 E : : 時間 F : : 時間 G : : 時間 H : : 時間 I : : 時間

*区分 A:診療業務(夜間・休日診療を除く) B:診療所管理業務(事務作業を含む) C:自己研修 D:学校医・産業医等(健診、予防接種を含む)
 E:救急対応関係 F:介護保険関係 G:行政・医師会等 H:地域行事 I:その他